

日出町教育委員会  
点検・評価報告書  
(令和6年度実施事業対象)



令和7年12月  
日出町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和6年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

# 目 次

I	点検・評価制度の概要	
1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象及び対象期間	1
3	点検・評価の方法	1
II	教育委員会の会議等の状況	
1	教育委員会の構成	2
2	教育委員会開催状況	2
3	教育委員会審議状況	2
4	教育委員会会議以外の活動状況	2
5	令和6年度 教育委員会会議開催実績	3
6	令和6年度 教育長・教育委員活動実績	6
III	施策の点検・評価	
1	点検・評価の対象	12
2	点検・評価の手順	12
IV	点検・評価第三者委員会	
1	点検・評価第三者委員会委員の構成	13
2	点検・評価第三者委員会会議の状況	13
V	点検・評価報告書の作成	13
VI	点検・評価の報告	
	基本目標Ⅰ 学校・幼稚園教育の充実	15
	基本目標Ⅱ 教育環境の充実	24
	基本目標Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実	36
	基本目標Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興	47
	基本目標Ⅴ 人権を尊重する社会づくり	59
	参考	
	日出町教育委員会点検・評価第三者委員会設置要綱	62

# I 点検・評価制度の概要

## 1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出することが義務付けられています。

本町教育委員会では、「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」の取組状況を基に、学識経験者の知見を活用し、法第26条の規定に基づく点検・評価を行い、ここに報告書をまとめました。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象及び対象期間

### （1）対象

教育委員会の活動状況及び令和4年3月に改訂した「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」に掲げる基本的施策（主な取組み）

### （2）対象期間

令和6年4月～令和7年3月

## 3 点検・評価の方法

（1）「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」中の「主な取組み」ごとに、教育委員会が点検・評価を行います。

（2）点検・評価を行うに当たり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関する学識経験者の知見を活用し、報告書を作成します。

（3）報告書は、日出町議会に提出します。

## Ⅱ 教育委員会の会議等の状況

### 1 教育委員会の構成（令和7年3月末現在）

教育委員会は、地域の実情に応じた教育行政を行うことを目的として設置された行政委員会で、教育長と4人の委員から成る合議制の執行機関です。

#### 【教育委員会の構成】

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	恒 川 英 志	令和 4 年 1 0 月 2 0 日～令和 7 年 1 0 月 1 9 日
教育長職務代理者	菅 英 一	令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 8 年 9 月 3 0 日
教 育 委 員	二 宮 誠 一 郎	令和 7 年 2 月 6 日～令和 1 1 年 2 月 5 日
教 育 委 員	松 成 さ つ き	令和 5 年 6 月 2 5 日～令和 9 年 6 月 2 4 日
教 育 委 員	利 光 奈 美	令和 6 年 3 月 2 6 日～令和 1 0 年 3 月 2 5 日

### 2 教育委員会開催状況

教育委員会の会議は、毎月開催する「定例会」と必要に応じて開催する「臨時会」があります（詳細は「5 令和6年度教育委員会会議開催実績」参照）。

	定例会	臨時会
開催回数	1 2 回	1 回

### 3 教育委員会審議状況

法第25条の規定に基づき、次のとおり審議を行いました（詳細は、「5 令和6年度教育委員会会議開催実績」参照）。

	議案	報告事項
件数	2 5 件	4 5 件

### 4 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも各種行事への参加、学校訪問、他団体との会議等様々な活動を行っています（詳細は、「6 令和6年度教育長・教育委員活動実績」参照）。

## 5 令和6年度 日出町教育委員会会議開催実績

月日	会議	番号	内容	結果
4月23日	第4回定例会	議案第16号	令和6年度日出町要保護・準要保護費目別支給額の改定について	承認
		報告第13号	区域外就学について	—
		報告第14号	令和6年度日出町奨学金認定状況について	—
		報告第15号	令和6年度日出町教育委員会の事務分掌について	—
5月24日	第5回定例会	議案第17号	令和6年度日出町一般会計補正予算（第1号）について	承認
		報告第16号	区域外就学について	—
		報告第17号	指定校の変更について	—
		報告第18号	初任者研修に係る提案授業の日程について	—
		報告第19号	学校公開予定日について	—
		報告第20号	校（園）内研究会の日程について	—
6月27日	第6回定例会	報告第21号	区域外就学について	—
		報告第22号	川崎小長寿命化事業、大神中学校エレベーター設置事業について	—
		報告第23号	令和5年度週授業時数の1時間削減について	—
		報告第24号	「学校日誌」の収集保存について	—
		報告第25号	学校給食センター調理配送等業務委託について	—
7月25日	第7回定例会	議案第18号	令和7年度使用小中学校教科用図書の採択について	承認
		報告第26号	令和6年度大分県学力定着状況調査について	—
		報告第27号	(1)豊岡・森子ども交歓キャンプについて (2)第75回九州地区公民館研究大会について (3)第77回大分県民スポーツ大会について	—
8月29日	第8回定例会 (書面開催)	議案第19号	令和6年度日出町一般会計補正予算（第3号）について	承認
		報告第28号	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について	—
		報告第29号	第77回大分県民スポーツ大会について	—
9月26日	第9回定例会	議案第20号	日出町就学援助規則の一部改正について	承認
		議案第21号	日出町特別支援教育数学奨励費交付要綱の制定について	承認
		議案第22号	令和6年第3回日出町議会定例会議案に対する教育委員会の意見について	承認
		報告第30号	区域外就学について	—
		報告第31号	指定校の変更について	—
		報告第32号	「おおいた教育の日」推進大会in由布市について	—
		報告第33号	令和7年度「おおいた教育の日」年間テーマの決定について	—

		報告第34号	(1)第77回大分県民スポーツ大会結果について (2)各地区体育祭について (3)2024歴史・文化講座 学芸員のひじまち学について (4)第39回生涯スポーツフェスタについて (5)2024ひじ産業文化まつりについて	—
10月28日	第10回定例会	議案第23号	令和5年度教育に関する事務の管理及び執行について	承認
		報告第35号	区域外就学について	—
		報告第36号	指定校の変更について	—
		報告第37号	令和6年度一般会計補正予算(第4号)について	—
		報告第38号	令和5年度教育関係予算の決算について	—
		報告第39号	年末年始各施設の臨時休館日について	—
		報告第40号	(1)日出町功労者表彰式について (2)各地区ふるさとまつりについて (3)高台院おね没後400年記念 歴史・文化講演会について	—
11月25日	第11回定例会	議案第24号	日出町教育委員会公告式規則の一部改正について	承認
		議案第25号	日出町立幼稚園管理規則の一部改正について	承認
		議案第26号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行規則に基づく個人番号利用事務実施者である日出町教育委員会が適当と認める書類等の一部改正について	承認
		議案第27号	日出町教育委員会後援等に関する要綱の制定について	承認
		議案第28号	令和6年度日出町一般会計補正予算(第5号)について	承認
		議案第29号	日出町文化財保護委員会への諮問について	承認
		議案第30号	区域外就学について	承認
		報告第41号	令和6年度初任者研修に係る提案授業について	—
12月19日	第12回定例会	報告第42号	日出町学校給食費等に関する条例施行規則の一部改正について	—
		議案第31号	日出町文化財の指定について	承認
		報告第43号	令和6年度日出町一般会計補正予算(第6号)について	—
		報告第44号	工事請負契約の締結について	—
		報告第45号	区域外就学について	—
		報告第46号	(1)令和7年日出町二十歳のつどいについて (2)第42回日出町新春健康マラソン大会について	—
		報告第47号	町民を対象とした給食試食会の実施について	—

			て	
		報告第48号	小・中学校、幼稚園卒業（園）式等の出席者割当について	—
1月27日	第1回定例会	議案第1号	日出町中学校スポーツ・文化芸術活動等に係る指導者人材バンク事業実施要綱の制定について	承認
		議案第2号	日出町立中学校部活動外部指導者に関する要綱の制定について	承認
		報告第1号	区域外就学について	—
		報告第2号	指定校変更について	—
		報告第3号	(1)令和7年日出町二十歳のつどいについて (2)第71回文化財防火デー日出町文化財防火訓練について (3)第42回日出町新春健康マラソン大会について	—
2月20日	第2回定例会	議案第3号	令和7年第1回日出町議会定例会議案に対する教育委員会の意見について（公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について）	承認
		議案第4号	日出町立幼稚園管理規則の一部改正について	承認
		議案第5号	令和7年第1回日出町議会定例会議案に対する教育委員会の意見について（令和6年度日出町一般会計補正予算（第7号）について）	承認
		議案第6号	令和7年第1回日出町議会定例会議案に対する教育委員会の意見について（令和7年度日出町一般会計当初予算について）	承認
		報告第4号	専決処分の報告について（日出町立中学校部活動外部指導者に関する要綱を定める告示の公示について）	—
		報告第5号	令和6年度日出町標準学力調査について	—
2月28日	第1回臨時会	議案第7号	県費負担教職員の人事異動の内申について	承認
3月19日	第3回定例会	議案第8号	日出町立小中学校における体験入学実施要綱の制定について	承認
		議案第9号	令和7年度日出町学校教育指導方針について	承認
		報告第6号	区域外就学について	—
		報告第7号	指定校変更について	—
		報告第8号	日出町立学校遠距離通学費補助金交付要綱の一部改正について	—
		報告第9号	令和7年度学校教育指導方針説明会の開催について	—



## 6 令和6年度 教育長・教育委員活動実績

月	日	活動内容	場所
4 月	1 日	新任管理職・新採用教職員辞令交付式	中央公民館
		年度初め式	日出町役場
		日出町転入者教職員説明会	中央公民館
	2 日	日出町学校教育指導方針説明会	中央公民館
	5 日	学校給食センター調理配送等業務委託第1回選定委員会	日出町役場
		幼稚園臨時主任会	中央公民館
		第1回教務主任研修会	中央公民館
		第1回日出町学力向上推進委員会	中央公民館
	10 日	中学校入学式	各中学校
	11 日	小学校入学式	各小学校
	12 日	幼稚園入園式	各幼稚園
		日出町一斉「あいさつ運動」(毎月1回)	町内
	15 日	第1回日出町幼稚園主任会	中央公民館
	16 日	第1回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	17 日	日出町教育支援センター(フレンドリー広場)開所式	中央公民館
	18 日	令和6年度全国学力・学習状況調査	小・中学校
	21 日	大神地区体育祭 ※中止	
	22 日	第1回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議	大分市
	23 日	第4回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		日出町文化協会第1回評議員会	中央公民館
		令和6年度大分県学力定着状況調査	小・中学校
	24 日	第1回日出町校長会	中央公民館
	26 日	学校公開	日出中学校
	30 日	日出町議会福祉文教常任委員会	日出町役場
		町教育研究協議会運営委員会	教育会館
5 月	1 日	第1回日出町教頭会	中央公民館
	8 日	令和6年度日出町教育研究協議会総会・研究集会	日出中学校
	10 日	日出町PTA連合会定期総会	別速杵地区教育会館
	14 日	全国町村教育長会定期総会及び研究大会(～15日)	東京都
		教育委員会学校訪問	藤原小・藤原幼・川崎小・川崎幼
		第2回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
		令和6年度日出町スポーツ協会理事会	中央公民館
	17 日	令和6年度別府管内教育行政連絡会第1回教育長会	別府市
	18 日	町内中学校体育大会	各中学校
	21 日	令和6年度大分県市町村教育委員会連合会総会	大分市
		令和6年度日出町文化協会総会	中央公民館
	24 日	第5回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		大分県危機管理研修会	大分市
	25 日	町内小学校運動会	各小学校
		第43回日出町区対抗ソフトボール大会開会式	黒岩公園

月	日	活動内容	場所
	29 日	学校給食センター調理配送等業務委託第 2 回選定委員会	中央公民館
	30 日	別府・杵築・速見・東国東地区租税教育推進協議会総会	別府市
		令和 6 年度日出町スポーツ協会総会	中央公民館
	31 日	第 2 回日出町校長会	中央公民館
6 月	4 日	第 2 回日出町議会定例会（～20 日）	日出町役場
		第 2 回日出町教頭会	中央公民館
	5 日	教育委員会学校訪問	豊岡小・豊岡幼・日出小・日出幼
	8 日	速見郡中学校総合体育大会	町内
	11 日	教育委員会学校訪問	大神小・大神幼・大神中
		初任研提案授業	日出中学校
		第 1 回日出町社会教育委員の会	中央公民館
	13 日	教育委員会学校訪問	日出中
		学校公開	藤原小学校
		第 1 回日出町スポーツ推進委員会	中央公民館
	14 日	帆足萬里忌辰祭	帆足萬里墓前
		学校公開	豊岡小学校
		校内研究会	川崎小学校
	18 日	初任研提案授業	日出中学校
	20 日	日出町立図書館協議会	町立図書館
	24 日	「学校日誌」収集保存報道発表	歴史資料館
	25 日	第 1 回日出町生徒指導総合連携推進委員会	中央公民館
		園内研究会	川崎幼稚園
	27 日	第 6 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		第 15 回人権フェスティバル第 1 回実行委員会	日出町役場
		令和 5 年度日出町スポーツ少年団総会	中央公民館
		園内研究会	藤原幼稚園
	28 日	日出町中学校部活動地域移行検討委員会	中央公民館
	29 日	第 1 回日出町人権講座	中央公民館
7 月	1 日	別府教育事務所学校訪問	豊岡小・藤原小・川崎小
		日出町自治公民館連絡協議会総会	中央公民館
	2 日	別府教育事務所学校訪問	大神中・大神小・学校支援センター
	3 日	別府教育事務所学校訪問	日出小・日出中
	4 日	第 1 回日出町文化財保護委員会	中央公民館
	5 日	校内研究会	大神中学校
		学校公開	日出中学校
	6 日	第 17 回日出町選手権大会	町内
		学校公開	大神中学校
	9 日	第 2 回日出町幼稚園主任会	中央公民館
		学校公開	川崎小学校
		初任研提案授業	日出中学校
		園内研究会	大神幼稚園

月	日	活動内容	場所
	10 日	校内研究会	日出中学校
	12 日	学校公開	大神小学校
	16 日	第 3 回日出町校長会	中央公民館
	17 日	第 3 回日出町教頭会	中央公民館
		園内研究会	豊岡幼稚園
	18 日	園内研究会	日出幼稚園
		第 3 回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	20 日	第 2 回日出町人権講座	中央公民館
	23 日	日出町文化協会理事会	中央公民館
	25 日	第 7 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
	31 日	日出町議会福祉文教常任委員会	日出町役場
		日出町教職員研修会	中央公民館
8 月	1 日	C T B メディア 35 周年絵本「ひじものがたり」贈呈式	日出町役場
		日出町要保護児童対策地域協議会代表者会議	日出町保健福祉センター
	2 日	令和 6 年度日出町立学校印刷機器賃貸借業務公募型プロポーザル審査委員会	中央公民館
	5 日	第 3 回日出町人権講座	中央公民館
	16 日	第 77 回大分県民スポーツ大会速見郡選手団結団式	中央公民館
	17 日	豊岡・森子ども会交歓キャンプ（～18 日）	豊岡地区公民館ほか
	21 日	令和 6 年度別府管内教育行政連絡会第 2 回教育長会	別府市
	22 日	令和 6 年度大分県市町村教育長協議会総会（～23 日）	日田市
	28 日	第 4 回日出町校長会	中央公民館
	29 日	第 8 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		第 75 回九州地区公民館研究大会（～30 日）	大分市
	31 日	日出町教職員研修会	別速杵地区教育会館
9 月	2 日	第 4 回日出町教頭会	中央公民館
		学校公開	大神中学校
		小学校英語専科教員公開授業	豊岡小学校
	3 日	日出中学校職場体験（～ 4 日）	町内
	4 日	第 1 回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会	中央公民館
	5 日	校内研究会	日出小学校
	7 日	第 77 回大分県民スポーツ大会（～ 8 日）	県内
	13 日	第 3 回日出町議会定例会（～10 月 11 日）	日出町役場
		校内研究会	豊岡小学校
	18 日	校内研究会	大神小学校
		学校公開	日出小学校
	19 日	第 4 回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	24 日	令和 6 年度日出町スポーツ協会表彰審議会	中央公民館
	25 日	校内研究会	藤原小学校
	26 日	第 9 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		第 2 回日出町学力向上推進委員会	中央公民館
	30 日	2024 歴史・文化講座 第 1 回学芸員のひじまち学	中央公民館
10 月	4 日	第 5 回日出町校長会	中央公民館

月	日	活動内容	場所
	6 日	豊岡・藤原・川崎地区体育祭	各地区
		日出地区ふれあいまつり	中央公民館
	7 日	第 2 回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会	中央公民館
		2024 歴史・文化講座 第 2 回学芸員のひじまち学	中央公民館
	8 日	日出町文化協会理事会	中央公民館
		初任研提案授業	日出中学校
		第 5 回日出町教頭会	中央公民館
	11 日	第 3 回日出町幼稚園主任会	中央公民館
		前期終業式	小・中学校・幼稚園
	12 日	体力運動能力判定会	中央体育館
	13 日	第 39 回生涯スポーツフェスタ（～14 日）	安養寺グラウンド他
	15 日	後期始業式	小・中学校・幼稚園
	19 日	第 38 回子ども会対抗綱引き大会	中央体育館
	20 日	第 17 回ザビエルの道ウォーキング大会	町内
	24 日	学校公開	日出中学校
	26 日	2024 ひじ産業文化まつり（～27 日） ※中止	中央公民館
	26 日	第 21 回日出町瀧廉太郎記念音楽会	町立図書館
	28 日	第 10 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
	31 日	第 4 回日出町人権講座	中央公民館
		小学校体育専科教員公開授業	藤原小学校
11 月	1 日	令和 6 年度「おおいた教育の日」推進大会 in 由布市	由布市
		学校公開	日出小学校
	5 日	初任研提案授業	日出中学校
	6 日	校内研究会	川崎小学校
	7 日	令和 6 年度第 2 回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議	大分市
	8 日	第 15 回人権フェスティバル第 2 回実行委員会	日出町役場
	10 日	豊岡・藤原地区ふるさとまつり	各地区
	11 日	2024 歴史・文化講座 第 3 回学芸員のひじまち学	中央公民館
	12 日	第 6 回日出町校長会	中央公民館
	13 日	「人権の花」運動の感謝状贈呈式	日出小学校
		校内研究会	豊岡小学校
	14 日	学校公開	豊岡小学校
		第 5 回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	16 日	高台院おね没後 400 年記念歴史・文化講演会	中央公民館
		学校公開	藤原小学校
	18 日	日出町議会福祉文教常任委員会	日出町役場
	20 日	第 6 回日出町教頭会	中央公民館
	21 日	日出町立図書館連絡協議会	町立図書館
	22 日	第 17 回大分県中学校総合文化祭杵築・日出大会	杵築市
	24 日	第 51 回国東半島駅伝競走大会	国東半島
	25 日	第 11 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		日出町心身障がい児教育支援委員会	中央公民館
	26 日	第 4 回日出町幼稚園主任会	中央公民館

月	日	活動内容	場所
		第2回別府教育事務所学校訪問	日出中・日出小
		校内研究会	藤原小学校
	27 日	第2回別府教育事務所学校訪問	川崎小・藤原小
		日出町教育関係職員厚生活動	中央体育館
	28 日	第2回別府教育事務所学校訪問	大神中・大神小・豊岡小
12 月	1 日	川崎・大神地区ふるさとまつり	各地区
	2 日	2024 歴史・文化講座 第4回学芸員のひじまち学	中央公民館
	3 日	第4回日出町議会定例会（～20 日）	日出町役場
		初任研提案授業	日出中学校
	4 日	校内研究会	大神中学校
	6 日	学校公開	大神小学校
	7 日	第15回日出町人権フェスティバル	中央公民館
	10 日	学校公開	川崎小学校
		初任研提案授業	日出中学校
	11 日	校内研究会	大神小学校
	12 日	校内研究会	日出小学校
	13 日	学校公開	大神中学校
	15 日	第46回日出町児童文化祭	中央公民館
	16 日	第7回日出町校長会	中央公民館
	17 日	日出町文化協会理事会	中央公民館
		令和6年度日出町標準学力調査	小・中学校
	18 日	学校給食町民試食会	給食センター
		校内研究会	日出中学校
	19 日	第12回日出町教育委員会定例会	中央公民館
		第7回日出町教頭会	中央公民館
		第6回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	23 日	臨時校長会	中央公民館
1 月	6 日	仕事始め式	日出町役場
		新年祝賀互礼会	中央公民館
	10 日	日出町いじめ問題対策連絡協議会	中央公民館
	12 日	令和7年二十歳のつどい	中央公民館
	18 日	文化財防火訓練	朝日寺
	19 日	第42回日出町新春健康マラソン大会	大神漁港
	22 日	速見郡人権・部落差別解消教育研究大会	中央公民館
	23 日	第6回日出町中学校部活動地域移行検討委員会	中央公民館
		第8回日出町校長会	中央公民館
	24 日	第8回日出町教頭会	中央公民館
		人権フェスティバル第3回実行委員会	日出町役場
	27 日	第1回日出町教育委員会定例会	中央公民館
	28 日	初任研提案授業	日出中学校
	30 日	日出町議会福祉文教常任委員会	日出町役場
2 月	2 日	学校公開	藤原小学校
	4 日	日出町文化協会理事会	中央公民館

月	日	活動内容	場所
		初任研提案授業	日出中学校
		学校公開	豊岡小学校
	6 日	二宮誠一郎教育委員会委員辞令交付式	日出町役場
	9 日	スポーツ少年団交流駅伝大会	糸ヶ浜海浜公園
	13 日	第 7 回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	14 日	日出町教育研究協議会第 3 回定例会	中央公民館
	20 日	第 2 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
	22 日	第 3 回大分県郡市対抗駅伝競走大会	大分市
	25 日	第 1 回日出町議会定例会（～ 3 月 18 日）	日出町役場
		第 2 回日出町生徒指導総合連携推進委員会	別速杵地区教育会館
	26 日	第 9 回日出町校長会	中央公民館
	27 日	第 3 回日出町学力向上推進委員会	中央公民館
	28 日	第 1 回日出町教育委員会臨時会	中央公民館
3 月	3 日	第 9 回日出町教頭会	中央公民館
	4 日	学校公開	川崎小・大神小
	7 日	中学校卒業式	各中学校
		令和 6 年度別府管内教育行政連絡会第 3 回教育長会	別府市
	8 日	日出町制施行 70 周年記念式典	中央公民館
	13 日	学校公開	日出中・大神中
		第 8 回日出町立学校支援センター連絡会	中央公民館
	14 日	幼稚園卒園式	各幼稚園
	16 日	日出町文化フェスティバル	中央公民館
	18 日	第 3 回日出町図書館協議会	町立図書館
	19 日	第 3 回日出町教育委員会定例会	中央公民館
	21 日	小学校卒業式	各小学校
	24 日	日出町教育支援センター（フレンドリー広場）開所式	中央公民館
	25 日	日出町文化財保護委員会	中央公民館
	26 日	第 2 回社会教育委員の会	中央公民館
		修了式	小・中学校
	27 日	臨時校長会	中央公民館
	31 日	教育功労者感謝状贈呈式	中央公民館
		教職員退職者辞令交付式	中央公民館
		退職者送別式	日出町役場

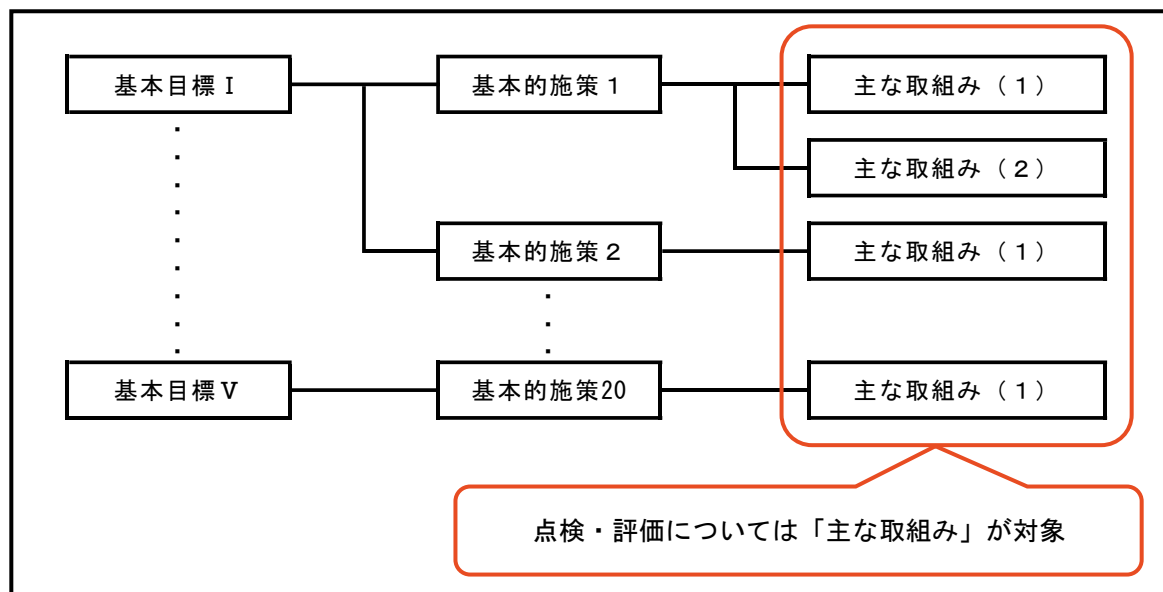
（注）行政会議・各種実行委員会会議等の一部の行事・活動については、記載を省略しています。

## Ⅲ 施策の点検・評価

### 1 点検・評価の対象

第2期教育振興計画（改訂版）は、「基本目標」、「基本的施策」、「主な取組み」で構成する施策体系であり、この点検・評価については、その中の「主な取組み」を対象とすることとします。

【参考：第2期日出町教育振興計画（改訂版）の体系と自己評価の対象】



### 2 点検・評価の手順

「主な取組み」ごとに、「令和6年度の取組実績」とその中で得られた「成果」や「課題・目標」について、担当課が評価を行い、教育委員及び点検・評価第三者委員会委員の評価・意見を反映したものを総合的な評価とします。

なお、「評価」については、次の5段階によるものとします。

【評価基準とその内容】

5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

(注) 教育委員及び第三者委員会委員の評価点数は、それぞれの委員の平均値（小数点以下第3位を四捨五入）を小数点第2位までで記載していますが、全委員が同じ評価をしたものについては整数で記載しています。

## Ⅳ 点検・評価第三者委員会

### 1 点検・評価第三者委員会委員の構成

#### 【点検・評価第三者委員会委員】

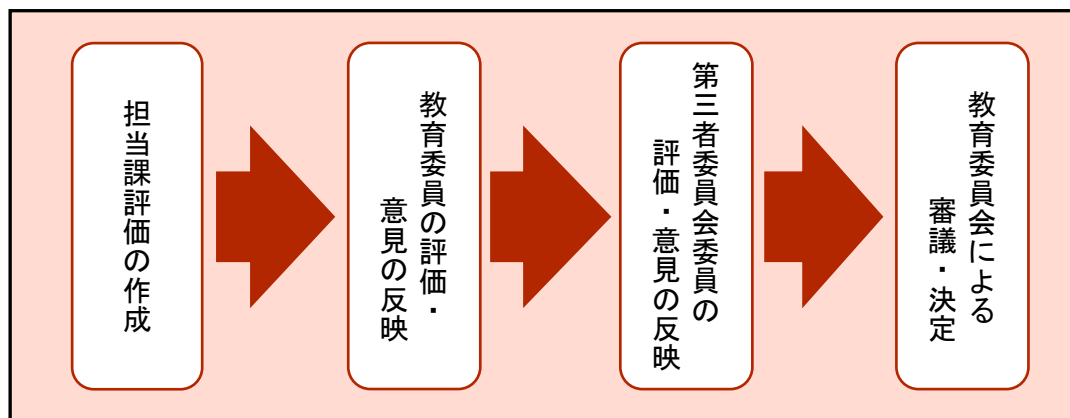
ふりがな 氏 名	任 期
かわの けんじ 河野 健二	令和7年8月25日～令和9年3月31日
はじ ますみ 土師 真寿美	令和7年8月25日～令和9年3月31日
おかの しゅうじ 岡野 修二	令和7年8月25日～令和9年3月31日

### 2 点検・評価第三者委員会会議の状況

- 第1回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会  
 日 時 令和7年8月25日（月）午後1時30分～  
 場 所 日出町中央公民館 2階 視聴覚室  
 議 事 1 令和6年度実施事務・事業の報告  
       2 点検・評価報告書作成スケジュール
- 第2回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会  
 日 時 令和7年10月3日（金）午後1時30分～  
 場 所 日出町中央公民館 2階 第3会議室  
 議 事 1 第三者委員会委員意見のとりまとめについて  
       2 点検・評価報告書作成スケジュール

## V 点検・評価報告書の作成

この点検・評価報告書の作成プロセスは次のとおりです。





## VI 点検・評価の報告

全42の「主な取組み」について、それぞれ作成した「点検・評価シート」により点検・評価を報告します（点検・評価シートは次ページ以降による。）。

【参考：点検・評価シートの構成】

基本目標	Ⅴ 人権を尊重する社会づくり。				
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進。				
主な取組	(2) 日常の様々な場面での効果的な人権教育と啓発。 ○住民が人権課題に対して人権の大切さに触れることができるよう 情報発信に努めます。				
実施事業	広報誌 人権コラム、人権だよりの発行、ホームページ・SNSでの				
令和6年度 の取組実績	○人権だより「じんけん」の発行（5回） ○広報ひび人権コラム「こころのまど」の掲載（4回） ○人権フェスティバルにおける、小中高生の人権作品の展示及び				
成果	○社会情勢に応じた人権記事を広報誌等に掲載し、多くの人権問 に多様な媒体で提供。 ○児童・生徒の人権作文を掲載し、幅広い年代に対し人権を考え				
課題・目標	○多くの人権作品の応募があるよう、募集を工夫する。 ○人権だより「じんけん」等をホームページに掲載し、広報を充				
数値目標	広報紙・町ホームページでの啓発の回数（年間）（回）				
	年度	（基準 値） R2	R3	R4	R5
	目標	6	14	17	19
実績	6	14	28	20	
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成		
	地区の回覧（紙媒体）	SNSなどを活用して、周知・啓発に			
教育委員 評価・意見	評価	3.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、成		
	■広報紙や町ホームページにおける啓発回数が前年よりも減少し い。人権問題に対する意識の維持・向上を図るには、様々な媒 考える機会を継続的に提供することが望ましい。				
	■幅広い年代への啓発を行うには、紙媒体以外にHP、SNS等 めな情報発信が必要だと感じる。				
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成		
	◆「じんけん」の発行やひび人権コラム「こころのまど」学 ィバルで発表された人権作文や人権ポスター、人権標語も機 社等で掲示できると効果があるのではないかと。（公民館や地区				
	◆人権の大切さはわかっているが、無意識のうちに侵害してし 様々だろうが人権について学ぶ機会を多く設け、考え、気づき らいたい。				
◆町報の「こころのまど」や「じんけん」は、必ず読みます。定 はとても大切だと思うので、学校へとあわせて、今後も続けて					
総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。			
【担当】社会教育課					

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課が令和6年度の取組実績やその成果を記載

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課の評価点数とその理由を記載

教育委員の評価と意見を記載

第三者委員会委員の評価と意見を記載

教育委員会としての総合評価を記載

この取組の担当課を記載

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課が令和6年度の取組実績やその成果を記載

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課の評価点数とその理由を記載

教育委員の評価と意見を記載

第三者委員会委員の評価と意見を記載

教育委員会としての総合評価を記載

この取組の担当課を記載

教育委員及び第三者委員会委員の評価点数は、それぞれの委員の平均値（小数点以下第3位を四捨五入。全委員が同じ評価点数のときは整数）を記載

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																											
基本的施策	1 確かな学力の向上																											
主な取組	(1) 各種学力調査結果の分析と活用 ○大分県・全国および日出町の各種学力調査の分析を日出町全体と各校で実施します。その結果を踏まえ、「日出町学力向上推進委員会」や各校の「学力向上会議」等で取組を検証し、学校の実態に則した改善策を推進します。																											
実施事業	全国学力・学習状況調査、大分県学力定着状況調査、日出町標準学力調査																											
令和6年度の取組実績	○「めあて」・「振り返り」・「課題」・「まとめ」の設定を行った授業をほぼ全員が行った。 ○生徒指導の3機能を意識した授業展開もほぼ全員が工夫を行った。 ○「努力を要する状況」の児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒への手立てを講じた授業の工夫を行った。																											
成果	○小学校4・5年生は、町学力調査で、全教科で全国平均を上回った。 ○考えたことや分かったことを表現する問題に課題がみられる。 ○小学校、中学校ともに国語の「書くこと」の力が高い。																											
課題・目標	○複数情報から、必要な情報を選び、自分の考えを条件に沿って表現する場を設定する必要がある。 ○基礎定着のための活動を計画的・継続的に行之、学習内容の定着を図る。 ○校種間の授業のつながりに改善の余地がみられる。																											
数値目標	国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合（％） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr><tr><td>実績</td><td>90</td><td>87.1</td><td>63.6</td><td>90.6</td><td>83.9</td><td>－</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	90	90	90	90	90	90	実績	90	87.1	63.6	90.6	83.9	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	90	90	90	90	90	90																						
実績	90	87.1	63.6	90.6	83.9	－																						
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	各学年とも、前年度より学力調査結果の改善がみられるとともに、学習意欲も向上している。																											
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	■各学校の実態に応じて組織的な学力向上対策が継続して実施されている。今後も1時間ごとの授業を大切にしてい取り組みを進めてほしい。 ■学力調査結果の改善がみられるのみならず、学習意欲も向上していることは好ましい。過去の文部科学省調査では、学習意欲が高い児童生徒の方が教科の平均正答率が高い傾向がみられることが報告されており、今後とも学習意欲の維持向上に注力して頂きたい。 ■主体的に学習に取り組む態度を育てて頂きたい。思考力や表現力を育成できるよう、計画的、継続的な取り組みをお願いしたい。 ■できる教科を伸ばすことも大切だが、苦手とする教科（単元）の底上げが重要となるため、各学力調査結果を分析し、その結果を生徒にフィールドバックしてほしい。																											
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	◆目標値には届かなかったものの、工夫を凝らした授業を展開しているようで、学力向上につながっていると思われる。昨年、今年と表現する問題に課題がみられるようなので、改善に向けてさらなる努力をお願いしたい。 ◆前年度の分析結果から課題を把握し、その解決に向け授業改善が進んで成果が表れている。各学年で差が出るのは仕方ないので、同じ学年の成績を追って成長を確かめてほしい。																											

	◆目標値が令和5年度より、若干下がっている。課題として必要な情報を選択・収集する力や自分の考えを表現する力を延ばしていくための手立てが大切になると考える。また、各テストの類似問題を練習することも有効である。学力については一喜一憂せず、地道に取り組んでほしい。		
総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。	

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																											
基本的施策	1 確かな学力の向上																											
主な取組	(2) 研修への参加と授業改善 ○各種研修への参加による教師の授業力向上と研修成果を生かした授業改善に取り組みます。 また、付けたい力を明確にし、確かな見取りと特別な配慮を必要とする児童生徒への具体的な手だてを講じた授業実践にも力を入れます。																											
実施事業	未来を創る学力向上支援事業（県教育委員会）																											
令和6年度の取組実績	○日出町内の教職員による公開授業の回数を増やし、参加を推奨した。 ○学校内で、互見授業を実施した。 ○管理職・ミドルリーダーによる授業参観を行った。																											
成果	○参加可能な公開授業の選択肢が増えた。 ○全教員による互見授業を、すべての学校で実施した。 ○管理職・ミドルリーダーによる毎日の授業観察を6校が行った。1校は毎日ではないが実施した。																											
課題・目標	○全教員が1回以上参加できるような日程や参加形態を工夫する。 ○校種や教科の枠を超えた公開授業への参加を推奨していく。 ○教員の研修の機会の確保と効率的な実施の工夫を続けていく必要がある。																											
数値目標	教科担任制推進教員、英語専科教員等による町主催の公開授業に1回以上参加した教員の割合（％） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>70</td><td>75</td><td>80</td><td>90</td><td>90</td><td>100</td></tr><tr><td>実績</td><td>70</td><td>55.5</td><td>63.7</td><td>64.4</td><td>95.6</td><td>-</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	70	75	80	90	90	100	実績	70	55.5	63.7	64.4	95.6	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	70	75	80	90	90	100																						
実績	70	55.5	63.7	64.4	95.6	-																						
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	公開授業とする回数を増やし、校種や教科の枠を超えた授業参観を推奨したことにより、参加機会が増え、参加率が大幅に上がった。																											
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	■公開授業の回数を増やし参加を推奨したことで、教師間の授業に対する意見交換ができ、意識が高まったと思う。今後も校種や教科の枠を超えた公開授業への参加を推奨し、教員の授業力向上への意識を高めていただきたい。 ■小中学校とも若い年齢層が増え、互研授業や公開授業への参加が良い研修の機会となっている。ICTの活用も課題であり、各年齢層の強みを共有して授業力を向上させてほしい。 ■町主催の公開授業に1回以上参加した教員の割合が前年から大きく上昇し、目標値を超えて																											

	<p>いる。また、校種や教科の枠を超えた授業参観が推奨されていることは好ましい。</p> <p>■学校や教科の枠を超えた公開授業は、授業改善への意識向上に繋がり、自身のスキル向上をもたらす有意義な取り組みである。経験年数１０年未満の教員には、特に重要であると考え。今後は参加者の意見等も参考にして、公開授業を実施してほしい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆経験の浅い教員の公開授業参加割合が増えており、今後の授業に活かしてほしい。参加できなかった者の理由を分析し、解決方法をさぐり１００％の参加を目指してもらいたい。</p> <p>◆回数を増やしたり、校種や教科の枠を超えた授業参観の推奨をしたり、工夫した結果、参加率が大幅に上がったことは、とても素晴らしい。先生方の意見を反映しながら進めてほしい。</p> <p>◆互見授業は、若い先生方の授業力向上にとても役立つ。特に技術的な発問・切り返し・発表の仕方・意見の膨らませ方・板書計画・まとめ方等、様々な年配者の巧みな技をしっかり吸収して自分の授業力向上に生かしたい</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																																												
基本的施策	2 豊かな人間性の育成																																												
主な取組	<p>(1) 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」を育てる取組</p> <p>○生徒指導の３機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」）を意識した授業展開や特別活動の工夫を図ります。</p> <p>○「特別の教科 道徳」の時間を要とし、自然体験や社会体験など、豊かな人間性や社会性を育む多様な体験活動の充実に取り組みます。</p>																																												
実施事業	—																																												
令和6年度の取組実績	<p>○「日出町教職員研修会」において「道徳科の授業づくり」研修を行った。</p> <p>○町内全体で、「人権の授業づくり」に関する校内研修、レポート発表会を開催した。</p> <p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修や実践に全小・中学校で取り組んだ。</p>																																												
成果	<p>○道徳教育・人権教育の工夫や、人間関係づくりプログラムの取組が全小・中学校で行われた。</p> <p>○「児童生徒の良いところを見つけて評価する（ほめる）」ことを１００％の学校で「よく行っている」。(県・国に比べて大幅に高い)</p> <p>○「自分にはよいところがある」と回答する子どもは、小学校では県・国平均を上回る。</p>																																												
課題・目標	<p>○「自分にはよいところがある」と回答する子どもが、中学校では県・国平均よりやや少ない。</p> <p>○人権教育に関する実践交流や授業参観の取組を進めていく必要がある。</p> <p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修や実践に継続して力を入れていく。</p>																																												
数値目標	<p>(小・中学校別)「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>年度</th><th>(基準値) R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>(目標値) R 7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小</td><td>目標</td><td>75.7</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>75.7</td><td>75.7</td><td>74.3</td><td>82.5</td><td>85.3</td><td>—</td></tr> <tr> <td rowspan="2">中</td><td>目標</td><td>72.8</td><td>77.0</td><td>77.0</td><td>77.0</td><td>77.0</td><td>77.0</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>72.8</td><td>72.8</td><td>79.5</td><td>75.5</td><td>76.2</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>								年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	小	目標	75.7	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	実績	75.7	75.7	74.3	82.5	85.3	—	中	目標	72.8	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0	実績	72.8	72.8	79.5	75.5	76.2	—
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																																						
小	目標	75.7	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0																																						
	実績	75.7	75.7	74.3	82.5	85.3	—																																						
中	目標	72.8	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0																																						
	実績	72.8	72.8	79.5	75.5	76.2	—																																						



担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	小学校では目標値に十分達しているが、中学校では目標値に到達していない。中学校では、改善した取組を進めている最中であり、少しずつ成果が表れてきている。		
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■道徳教育や人権教育等の地道な実践の継続が、人間性を高めることにつながっていくと感じる。</p> <p>■これからも自己肯定感が高まるような取組を実践していただき、ほめたり、励ましたりしながら自分に自信を持てるようにしてほしい。小学校と中学校が連携し、人権教育に関する実践交流や授業参観の取組も継続していただきたい。</p> <p>■「自分には良いところがある」と回答した生徒の割合は年々増加している。一方、回答しなかった生徒には、人間関係づくりプロジェクトや道徳教育等を通じて、自己肯定感を高める取り組みを実践してほしい。</p> <p>■「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合の全国平均は、小学校、中学校とも80%を超えており、日出町の中学生の自己肯定意識が低いことは気掛かり。自己肯定意識は自尊心の形成や自信、積極性などにつながるものであるから、今後とも豊かな人間性を育むことに注力して頂きたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆友だちの良さを見つけることも大事である。併せて自己肯定感をしっかり持つことが、他の人を大切する心につながるものである。中学生の自分に対する自信や良いところを実感できるように、ほめていきたい。</p> <p>◆人は皆、個性があり異なる考え方を持っている。感受性豊かな小中学生の時代に、教師は個々の「よいところ」を見出し、気づきを与え、自信と希望をもたせる存在であってほしい。</p> <p>◆中学校では、職場体験が復活したり、地域の人を授業で活用したりして、手ごたえがあると聞き、今後に期待している。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実
基本的施策	3 健康・体力づくりの推進
主な取組	<p>(1) 授業改善と組織的な体力向上の取組</p> <p>○運動量の確保と「わかる」「できる」「楽しい」授業を実践します。</p> <p>○運動の愛好度を高めるために、組織的な体力向上の取組を行います。</p>
実施事業	大分県体力・運動能力等調査、体力アップおおい推進事業
令和6年度の取組実績	<p>○運動量の確保と「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践を目指した研修</p> <p>○体育専科教員を各小学校に配置し、一緒に指導をしながら担任の指導力アップを図る。</p> <p>○日出町体育実技講習会を開催し、学校体育における指導の充実を図る。</p>
成果	<p>○小・中男子の実績が昨年度を大幅に上がり、目標値を上回っている。</p> <p>○「体力向上プラン」「一校一実践」の実施・改善等が各学校で組織的にできている。</p> <p>○体育専科教員による実技講習会や公開授業にすべての学校から参加をし、授業力向上に努めている。</p>
課題・目標	○1人1台端末を活用した体育授業の推進。

	○他の項目と比較して、持久力、走力に課題が見られる。							
数値目標	(小・中学校別)新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(%)							
		年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	小	目標(男)	79.0	79.0	81.0	81.0	82.0	82.0
		実績(男)	79.0	73.2	76.1	78.6	86.8	－
		目標(女)	83.0	83.0	84.0	84.0	85.0	85.0
		実績(女)	83.0	82.7	83.8	82.3	80.4	－
	中	目標(男)	73.0	73.0	78.0	78.0	80.0	80.0
		実績(男)	73.0	70.5	65.6	75.2	87.5	－
		目標(女)	84.0	84.0	85.0	85.0	87.0	87.0
		実績(女)	84.0	84.0	75.9	84.2	84.2	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。					
	小・中男子の実績が昨年度より大幅に上がり、目標値を上回っている。引き続き「わかる」「できる」「楽しい」授業実践に向けて研修等をとおして指導力を高めていく。							
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。					
	■体育専科教員や体育実技講習会などの継続した取り組みが、小中学校とも「わかる・できる・楽しい」授業作りに成果としてあらわれている。 ■男子の結果が向上しており、今後は女子の向上を目指し、「体力向上プラン」「一校一実践」の実施・改善を組織的に行っていただきたい。 ■小中学生とも県平均を上回り、特に小・中男子の値は飛躍的に伸びている。今後も、運動の質と量を確保しながら、体育が楽しいと思う工夫を取り入れてもらいたい。 ■新体力テストにおける総合評価は、小学校、中学校とも女子が前年に比べて低下又は横這いの状態で目標値に届いていない。個々の体格差や体力差にも配慮しつつ、児童生徒の運動への愛好度を高めていただきたい。							
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。					
	◆研修や体育専科教員の各小学校配置などの取り組みが実を結んできたのだろう。 ◆運動による体力づくり、健康づくりは必要なことであり、教師の指導力アップによる効果が認められる。運動能力に差が出てしまうのは仕方ないが、運動が嫌いにならず楽しさを感じるような指導を心がけてほしい。 ◆体育専科の教師が、各学校を回り、担任と連携して体力向上の指導に努力していてその効果が良く数値にも反映されている。							
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。					

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実
基本的施策	3 健康・体力づくりの推進
主な取組	<p>(2) 健康教育の推進</p> <p>○全学校で、栄養教諭と連携した食育の授業やフッ化洗口、発達の段階に応じた薬物乱用教育組織的に行います。</p>

実施事業	体力アップおおい推進事業						
令和6年度 の取組実績	○体力向上推進委員会を年2回以上、食育担当者を1回以上開催する。 ○食育担当者では、栄養教諭の活用の促進を図る。						
成果	○栄養教諭を活用した食育の授業をすべての学校で実施した。 ○栄養教諭による、給食時間を活用した短時間指導が定着している。 ○県教委栄養教諭部会作成の食育動画など、ICTを活用した指導が充実している。						
課題・目標	○朝食摂取率が高いので、令和5年度より「しっかり食べる」ことを目標にした。 ○栄養教諭と学校担当者との打合せ、事前準備等の連携・効率化を進める。						
数値目標	栄養教諭と連携した食育の授業を実施した学校の割合（％）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				
	栄養教諭の活用が定着し、指導内容も充実してきた。今後も取組を推進していく。						
教育委員 評価・意見	評価	4.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				
	■栄養教諭との連携した取り組みが続けられており、健康教育が充実している。 ■今後も栄養教諭による食育授業や給食の時間を活用した指導を継続していただきたい。 ■食育の授業は毎年全学校で実施されており、「食の大切さ」は生徒に浸透している。今後も食に対する指導や授業を引き続き実施してもらいたい。 ■心身ともに発達・発育が著しい小・中学生期に望ましい食習慣を身に付けるべく、全ての学校で食育の授業が実施されている。好ましい生活習慣を身に付けることなど、幅広い健康教育が今後とも推進されることを望む。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆栄養教諭と連携した食育の充実が認められる。食材の生産者や提供者との連携もできているようであり、保護者との連携も含め引き続き食育に力を入れてもらいたい。 ◆栄養教諭が1人になっても、熱心に取り組んで下さった結果で、とてもありがたい。1人になったの負担増もあるのではと思うので、栄養教諭の方の意見をよく聞いて、今後の取組を計画してほしい。 ◆栄養教諭が1人になったにもかかわらず、食育の授業を全学校で行ったり、達成目標を到達できていることに努力を感じる。						
総合評価		5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実
基本的施策	4 グローバル人材の育成
主な取組	(1) 外国語教育の推進 ○今後も継続して小・中学校にALTを配置し、外国語教育の充実を図ります。また、研修等を通して、小学校教員の英語指導力の向上を図ります。
実施事業	外国語指導助手導入事業

令和6年度の 取組実績	○9月から4人のALTを配置・活用することができた。 ○JETプログラムコーディネーターを配置し、活用計画等の統括を行った。 ○専科教員や推進校での公開授業を開催した。																										
成果	○全ての小学校で、英語専科教員やALTを活用し、授業や研修を通して英語指導力の向上を図っている。 ○小学校の授業を中学校教員も参観し、小中連携の視点で意見交流等を行った。																										
課題・目標	○8月までALTが1人欠員であった。 ○中学生は、ALTとの授業が楽しい（99.8%）一方、英語の勉強が好きな生徒が少ない。（46.6% 全国的傾向） ○中学校での効果的な活用について、さらに工夫を行う必要がある。																										
数値目標	ALTとの授業が「楽しい・とても楽しい」と応える児童の割合（%） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>92.0</td><td>92.0</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>92.0</td><td>95.0</td><td>95.0</td><td>95.0</td><td>96.0</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	92.0	92.0	92.0	93.0	93.0	94.0	実績	92.0	95.0	95.0	95.0	96.0	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	92.0	92.0	92.0	93.0	93.0	94.0																					
実績	92.0	95.0	95.0	95.0	96.0	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	ALTとの授業の満足度がとても高く、児童生徒の意欲につながっている。日常的なALT活用が、日出町の子どもたちにとって、外国語や外国の文化への慣れ親しみにつながっている。																										
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■ALTとの授業を楽しんでいる児童・生徒が多いことは好ましいが、英語の勉強が好きな生徒が少ない現状に対しては有効な手立てを講じていく必要がある。 ■学校公開を通して、小学生が英語が楽しいと感じているのは、英語専科教諭やALTがモニター等を駆使し、楽しく学べる環境作りを行っているからだと感じた。しかし、中学になると内容の高度化や進度も速くなる等々学習の急激な変化で、英語の勉強が好きな生徒は半数になっている。どうしたら英語を好きなまままでいられるか、SNS等も活用しながら対策を行ってほしい。 ■ALTとの授業では、子どもたちの生き生きとした姿が広がっている。外国語教育の推進への取り組みを続けてほしい。 ■ALTとの授業の満足度が高いので、小学校と中学校で連携し、英語の勉強が好きな生徒の増加を目指していただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	◆ALTとの授業が楽しいという子どもが99.8%と圧倒的に多いのに、英語の勉強が好きな生徒が少ないといった不釣り合いで、乖離している。英語力の向上をめざしたい。 ◆ALTとの授業を楽しんでいることは良いことだが、英語の勉強となると違った感覚なのだろう。ALTとの授業をきっかけに英語の勉強が好きになり学力向上につなげていく指導を期待する。 ◆4人のALTやコーディネーターの配置、公開授業などの取り組みの成果が出ていて素晴らしい。中学校の英語では「話す」、「聞く」だけでなく、テストのため「書く」もあり、苦手意識を感じる生徒がいるのではと思う。																										
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								

【担当】学校教育課



基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																													
基本的施策	5 特別支援教育の充実																													
主な取組	(1) 早期からの相談支援体制の充実 ○「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し。効果的な活用を図ります。 ○校内、校種間の連携を強化します。																													
実施事業	支援の必要な児童生徒の「個別の指導計画」の作成																													
令和6年度の取組実績	○特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成 ○通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても、必要に応じた「個別の指導計画」の作成																													
成果	○各計画の作成が確実に行われ、指導への活用が定着してきた。 ○別府教育事務所「個別の指導計画」作成推進教員を活用し、研修を深めた。 ○就学・進級に係る教育相談を受け、必要な支援の検討等を早期に進めた。																													
課題・目標	○より子どもの状況に即した「個別の指導計画」の作成・活用のための研修の充実。 ○全教職員の共通理解に基づいた特別支援教育の充実のための研修等の推進 ○通常の学級における特別の支援が必要な児童生徒への支援の充実																													
数値目標	<table><tr><td colspan="2">「個別の支援計画」の作成率と年1回以上の見直し(%)</td></tr><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>-</td></tr></table>							「個別の支援計画」の作成率と年1回以上の見直し(%)		年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
「個別の支援計画」の作成率と年1回以上の見直し(%)																														
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																								
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																								
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-																								
担当課評価 ・理由	担当課評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																											
	「個別の指導計画」の作成は進んでいる。今後はよりよい計画の作成と活用が課題。																													
教育委員 評価・意見	評価	4.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																											
	■幼・小・中の連携が進み、指導計画や支援計画の内容にも反映されている。全職員での共通理解をさらに進めてほしい。 ■個別の指導計画や個別の教育支援計画の策定・見直しが100%されているため、今後はより児童一人一人の持てる能力を高められるような取り組みの見直しを適時行ってほしい。 ■特別支援学級に在籍する児童生徒のみならず、通常学級に在籍している特別な支援を要する児童生徒についても「個別の指導計画」を作成し、きめ細かな指導が行われていることは好ましい。家庭との連携が困難なケースもあると思われるが、この取り組みを継続して頂きたい。 ■「個別の指導計画」は、保護者・関係機関と連携していく中でとても大切なツールとなっていると思う。今後も早期に進めて頂き、全教職員の共通理解に基づいた特別支援教育の推進に取り組んでいただきたい。																													
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																											
	◆支援が必要な児童生徒に対する「個別の指導計画」はできているようだが、児童生徒の将来につながるよう、指導計画の逐次見直しやその時々に応じた臨機応変な指導を行ってほしい。 ◆特別支援教育では、個別の支援計画が重要である。その子に応じたペースでカリキュラムを作っていくと無理がある。1歩1歩取り組んでいくことを大切にしてほしい。																													

	◆「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成、見直しは十分定着しているため、数値目標はそろそろもう一段階上の目標を設置してはどうか。		
総合評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。	

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																											
基本的施策	6 幼児教育の充実																											
主な取組	<p>（１）幼児期にふさわしい教育・体験活動の提供 幼保小連携による小学校教育活動への円滑な移行</p> <p>○幼児期にふさわしい教育、体験活動を実施するために、教員は研修研鑽に努めます。また、園での活動が子どもたちの実態にあったものとなるよう教育課程の見直しを適宜行います。</p> <p>○幼稚園やこども園、保育所と小学校との連携強化を図るため、研修会や情報交換会等を実施し、子どもたちの情報共有や相互理解を行います。</p>																											
実施事業	幼保小連携推進事業 幼稚園園内研修																											
令和６年度の取組実績	<p>○幼保小連携推進協議会の開催（校区ごと計５回、町全体で１回）</p> <p>○園内研修や協議会、こども園公開保育での研修</p> <p>○幼稚園主任会において「教育課程見直しの意義」についての短時間研修実施</p>																											
成果	<p>○幼保小の連携について、各所属の意識が向上した。</p> <p>○大分県幼児教育振興プログラムに沿った、教育課程の見直し・検討が進んできている。</p>																											
課題	<p>○保育と両立しできる効率的な研修時間の設定。</p> <p>○若い幼稚園教員の研修機会の確保。</p> <p>○小学校との情報共有やカリキュラム内容の交流。</p>																											
数値目標	<p>小学校とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数</p> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2.2</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>2.2</td><td>2.3</td><td>2.3</td><td>4.0</td><td>4.2</td><td>－</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	2.2	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	実績	2.2	2.3	2.3	4.0	4.2	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	2.2	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0																						
実績	2.2	2.3	2.3	4.0	4.2	－																						
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	大分県幼児教育振興プログラムに沿った教育課程の見直し・検討の意義を再認識することで、教育課程の活用が進み、目標値を超える結果となった。																											
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	<p>■小学校へのスムーズな移行の為、保育所・こども園・幼稚園と小学校の情報交換を引き続き行い、大分県幼児教育振興プログラムに沿った教育課程の見直し・検討も引き続き行いたい。</p> <p>■きめ細かく教育課程の見直しが行われ、小学校との連携がより円滑になってきている。</p> <p>■町立幼稚園に通う理由の一つに、継続的に小学校（児童）と連携ができ、円滑な小学校生活への移行ができることがあげられる。保育園では小学校との連携はなかったが、ここ数年の幼保小連携により、協議会の開催や小学校の教職員が保育園に訪問する等取り組みが活発になっている。今後も、園児達が安心して入学できるような取り組みをお願いしたい。</p> <p>■小学校教育活動への円滑な移行に資するため、今後とも小学校との連携を密にして、園児に</p>																											

	関する情報の共有や相互理解の充実を図って欲しい。なお、町立幼稚園は教職員数が少なく、園外で実施される研修に参加することは容易ではないと思われるので、資質向上の取り組みを工夫して頂きたい。		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆幼保小の連携を深めることは重要であり、子どもが小学校にあがった時に学校生活にスムーズに溶け込めるような環境づくりに努めてもらいたい。</p> <p>◆幼保小連携推進協議会を通じて、小学校との連携強化が図られていることは素晴らしい。更に深めていってほしい。</p> <p>◆幼保（子ども園）小の連携が大切である。小学校１年にあがる前に十分情報交換しておき、一人一人にどう対応していくか、検討したい。また、小学校になれるまでの小１プログラムにならないように普段から小学校の行事に呼んだり、１日１年生等の機会を持つと良い。</p>		
	総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	7 子どもの学びの保障																										
主な取組	<p>（１）「不登校」の未然防止・早期対応</p> <p>○未然防止、早期発見に向けて、児童生徒一人一人の状況に応じた適切な指導・援助、「人間関係づくりプログラム」の推進による「心の居場所づくり」に努めます。</p> <p>○教育支援センター（「フレンドリー広場」）において、一人一人の状況に応じたきめ細かな解決支援を行います。</p>																										
実施事業	－																										
令和6年度の取組実績	<p>○短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の全小・中学校での実施</p> <p>○「児童生徒支援対策プラン」の作成、それに基づく組織的な対応</p> <p>○SC、SSW、地域児童生徒支援コーディネーターとの連携による支援体制強化</p>																										
成果	<p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修と内容の検討を全小・中学校で実施</p> <p>○児童生徒全員を対象とした教育相談を全ての学校で実施</p>																										
課題・目標	<p>○新規不登校生は、中学校では減少したが、小学校では増加した。</p> <p>○中学校進学時に小・中学校の連携による適切な支援が必要。</p> <p>○小学生の新規不登校については、全国的傾向である。研究と考察が必要。</p>																										
数値目標	<p>不登校児童生徒の出現率（％）</p> <table><tr><th>年度</th><th>（基準値） R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>（目標値） R 7</th></tr><tr><td>目標</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.9</td><td>2.0</td><td>2.6</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	実績	2.0	2.0	2.9	2.0	2.6	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																					
実績	2.0	2.0	2.9	2.0	2.6	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	不意登校児童生徒の出現率が上昇している。引き続き教育支援センター・登校支援員・学校・専門職等との連携を強化していく。																										
	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

教育委員 評価・意見	<p>■不登校の未然防止及び解消のため、今後とも関係機関や家庭と連携しながら児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応をしていただきたい。</p> <p>■新規不登校生が小学校で増加していることは、大変懸念される事項である。ある小学校では朝教室に入りづらい児童が、心が落ち着くまで待機できる場所があり、いい取り組みであると感じた。学校が安心できる場所であると認識してもらうことが大切なので、各児童にあった支援が望まれる。</p> <p>■不登校生の増加は全国的な傾向である。これまでの組織的な対応を粘り強く進めてほしい。</p> <p>■小学校の不登校児童が増加してきていることから、学校・家庭・地域が連携し、早期発見、一人ひとりに応じた支援の充実、そして多様な学びの場を提供していくことが大切だと思う。また、中学校進学時に小・中学校が連携し、継続的な支援ができるシステムも構築していただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆不登校児童・生徒の出現率だけを数値目標にするのではなく、出現したその後の復帰率が大切だと思う（出現自体は自然なことととらえる。）。学びの多様化学校が必要とされる今、教室・学校にとらわれることなく、フレンドリー広場などで、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を今後も続けてほしい。また、その啓発も必要。</p> <p>◆不登校になる要因は様々で難しい問題だが、普段から学校が楽しい場所、心地よい場所であると思える環境づくりに努めてほしい。不登校になってしまった児童生徒に対しては、「居場所」を提供し適切な支援を行ってほしい。</p> <p>◆フレンドリー広場に来る子は、いろんなきつい思いや悩みを持っている。その心のきつさを支えてあげ、まずできること、1つずつ取り組んでいってほしい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	7 子どもの学びの保障
主な取組	<p>(2) 「いじめ」の未然防止・早期発見・早期対応</p> <p>○全教職員が、いじめは絶対に許さないという共通認識を持ち、未然防止のための「人間関係づくりプログラム」を推進するとともに、早期発見・解消に向けた組織的な取組、関係機関との連携を図ります。</p>
実施事業	—
令和6年度の取組実績	<p>○短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の実施</p> <p>○「児童生徒支援対策プラン」の作成、それに基づく組織的な対応</p> <p>○いじめに関する年3回のアンケートの調査結果の分と結果の活用</p>
成果	<p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修と内容の検討を全小・中学校で実施</p> <p>○児童生徒全員を対象とした教育相談を全ての学校で実施</p> <p>○各学校の教育相談コーディネーターに対する研修の実施</p>
課題・目標	<p>○小学校のいじめ解消率の低下</p> <p>○いじめ見逃しゼロと、発生した事案の解消に向けた丁寧な指導支援</p> <p>○発生後3か月たっても解消されていないケースに対する対応</p>
	いじめ事案に対する解消率（％）

数値目標	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	88.8	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	88.8	87.9	72.5	78.8	69.0	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。				
	いじめ事案の解消率が上がっていない。状況の丁寧な分析・考察と解消への確実な取組とともに、「人間関係づくりプログラム」のより有効な実施をはじめとする未然防止の強化が必要。						
教育委員 評価・意見	評価	2.25	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。				
	<p>■教育相談コーディネーターが中心となり、いじめ事案に対する早期で組織的な対応をお願いしたい。</p> <p>■いじめ事案の解消率が低下傾向にある。困難な課題であると承知しているが、未然防止、早期発見、早期解決に向けた対応の充実を図る必要がある。</p> <p>■いじめにつながる原因が多様化しており、周囲が気づきにくい難しさが増している。「いじめ見逃しゼロ」と発生事案への迅速な対応を通して、いじめ解消に今後も努力してほしい。</p> <p>■いじめ問題には早急で適切な対応が重要となるが、その対策として定期的な匿名アンケートの実施や、こまめな教職員の注視や、児童が大人にいじめがあることを言える状況を作ることが大切である。</p>						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.33	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。				
	<p>◆どんな状態がいじめ解消なのかよく分かりませんが、簡単に解決したと学校側が思っていないことは、いじめを受けた側に寄り添っているケースもあるのでは、と思いました。そうであるなら、1回の話し合いなどで、簡単に終止符を打たれるより、よりよい解決の方向に進んでいると思います。いじめの被害者・加害者の両方への丁寧な指導支援を組織的に進めてほしい。</p> <p>◆「いじめ」の無い学校が理想だが、教師は子どもの性格を把握し、言動に注意しながら早期の気づきに努めてほしい。「いじめ」の事案に気づいた時は、教員間で共有し、早期解決に向けた行動を行ってほしい。</p>						
総合評価		2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。				

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	8 時代の変化に対応した教育環境の整備
主な取組	<p>(1) 学校施設の長寿命化改修等による教育環境の整備・充実</p> <p>○「日出町学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の計画的かつ効果的な長寿命化改修による教育環境整備を進めます。</p> <p>○余裕教室を少人数指導教室や特別活動教室として活用するとともに、学校の実情に応じて、児童育成クラブや防災備蓄倉庫としての活用などを進めます。</p> <p>(2) 快適な学校生活に向けた環境整備・学校内外における安全対策の充実</p> <p>○小・中学校のエアコン設備は令和元年度までに設置を終え、また、手洗いの自動水栓化を令和3年度に行いました。引き続き快適な学校生活に向けた望ましい環境整備に努めるとともに、学校施設の防災機能の向上を図ります。</p>



	○自然災害や防災、不審者等への対策についての基礎的・基本的事項を理解させるなど、防災教育の充実に努めるとともに、学校や地域の実情に応じ、火災や地震、津波等の災害発生を想定した避難訓練等を通して、自らの危険を予測し、回避する能力等の育成に努めます。																										
実施事業	防災教育・避難訓練の充実、小・中学校管理事業、幼稚園管理事業、（新規設定）川崎小学校長寿命化事業、大神中学校エレベーター設置事業、日出中学校柔道場改修事業																										
令和6年度の取組実績	○川崎小学校校舎の長寿命化改修工事設計の実施。令和7年度工事着手予定 ○大神中学校校舎のエレベーター設置工事の設計及び工事着手。令和8年2月完成予定 ○日出中学校柔道場の床改修及び畳の入替の実施 ○老朽化、故障・不備に伴う工事・修繕（日出小・日出中学校エレベーター戸開走行保護装置取付工事、日出中学校体育館バスケットゴール取替工事、川崎幼稚園外壁改修工事、校（園）舎（附属建物含む。）の各種設備、プール循環ろ過措置、消防設備、遊具等の修繕） ○学校の立地や発達段階に応じた防災教育の実施 ○危機管理マニュアルの作成と見直し ○実践的な避難訓練の実施																										
成果	○教育活動に支障をきたすことなく、整備を行うことができた。また、防衛省の訓練交付金を活用し、日出中学校柔道場の整備を図ることができた。 ○懸案事項である川崎小学校の長寿命化改修工事の設計を行うことができた。 ○学校の立地や発達段階に応じた防災教育を全ての学校で実施 ○危機管理マニュアルの見直しを全ての学校で実施 ○実践的な避難訓練を全ての学校で実施																										
課題・目標	○川崎小学校の他の学校について、施設の老朽化等に対応する必要がある。 ○物価高騰により工事費・修繕費が高額化しているため、予算の範囲内で効果的な整備を行う必要がある。 ○地域と連携した防災教育・防災訓練については実施できていない学校がある。																										
数値目標	各小中学校で防災教育や避難訓練の実施 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="6">全小・中学校で年3回以上実施</td></tr><tr><td>実績</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	全小・中学校で年3回以上実施						実績	○	○	○	○	○	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	全小・中学校で年3回以上実施																										
実績	○	○	○	○	○	-																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	施設整備については、限られた予算ではあるが、学校との連携により効果的に対応することができた。 防災教育や避難訓練は適切に実施できている。意識定着のため、今後の継続が大切である。																										
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■限られた予算の中で、各校の施設・設備の整備、改修が計画的に行われている。また、全小中学校で年3回以上防災教育や防災訓練を実施するなど、安全対策の充実を図っている。 ■学校は、防災時の避難所としての役割を兼ねているため、老朽化のための改築やエレベーターの設置など地域住民が安心できる場所作りが必要。現状、改修・改築工事は困難な状況にあるが、児童や住民のために計画的に取り組んでほしい。避難訓練時の引き渡し訓練では、単に「親が子どもを迎えに行く」だけでなく、親子で防災について考えるきっかけにしてほしい。																										

	<p>■危機管理マニュアルの定期的な見直しを行い、継続的な防災教育、避難訓練の実施を通じて、防災意識を高めていただきたい。</p> <p>■時代のニーズに応じた教育環境の整備が着実に進んでいる。防災教育の観点から、幼・小・中が合同で保護者と連携した避難訓練を実施した学校もあった。</p>		
第三者委員	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆教育環境の整備については、学校からの要望を元に、スムーズに改善・修理等を行ってほしい。万一の時、地域と連携のとれていた学校では、お互いを思いやって避難生活をしたと聞いた。地域と連携した訓練に取り組んでほしい。</p> <p>◆施設の老朽化や夏の高温化、災害対応などで施設整備の必要性が高まっている。高額な予算が必要となるが、補助金・交付金の活用や優先順位の決定などで、計画的に改善・解決していただきたい。</p> <p>◆防災教育・避難訓練は南海トラフ地震や近年の線状降水帯の水害等、リスクがあるので、子どもたちを災害からいかに守っていくか、日頃より訓練と危険回避の知識の習得を目指したい。不審者対策も忘れた頃に、突如起こって戸惑うことがある。子どもの安心安全を全方向で考えたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】教育総務課・学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																			
基本的施策	8 時代の変化に対応した教育環境の整備																			
主な取組	<p>(3) 機能的な学習環境の整備・充実</p> <p>○老朽化した机や椅子の更新をはじめ、ICT環境の整備、ICT支援員の配置やICTガイドライン策定などによる学校現場のICTの活用を促進するなど、快適な学習環境の充実に努めます。</p> <p>○ICTが生活に不可欠となっている中で、学校教育においても積極的にICTを活用しつつ、主体的な情報収集や発信ができる「情報活用能力」の育成を図るなど、これからの未来社会を生きるために不可欠な資質や能力が身に付けられる学習環境の実現を目指します。</p> <p>○令和3年度末までに、すべての生徒・教師へのタブレット端末を配布しました。令和4年度にはモデル校を設定しICT教育の研究を行いながら、その後モデル校拡充を進め、全小中学校でのICT授業の試行により、令和7年度までには全小・中学校において、ICT活用授業の実施を目指します。</p>																			
実施事業	ICT環境整備事業、ICT環境再整備事業																			
令和6年度の取組実績	<p>○学校用ネットワークサーバの更新の実施</p> <p>○資産管理用ソフトの導入</p>																			
成果	<p>○学校用ネットワークサーバの更新により、IDC（インターネットデータセンター）のサーバを利用する方式に改めた。</p> <p>○資産管理用ソフトにより、校務用パソコンのトラブルを遠隔操作で対応できることとした。</p>																			
課題・目標	令和7年度に児童生徒が使用する学習用端末の更新を行う必要がある。																			
数値目標	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">ICT機器を活用した先進授業の取組みを実施している小・中学校の割合（％）</td><td>(基準値)</td><td></td><td></td><td></td><td>(目標値)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr> </table>						ICT機器を活用した先進授業の取組みを実施している小・中学校の割合（％）		(基準値)				(目標値)	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
ICT機器を活用した先進授業の取組みを実施している小・中学校の割合（％）		(基準値)				(目標値)														
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7														

	<table><tr><td>目標</td><td>0</td><td>30</td><td>50</td><td>70</td><td>80</td><td>100</td></tr><tr><td>実績</td><td>0</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>-</td></tr></table>							目標	0	30	50	70	80	100	実績	0	100	100	100	100	-
目標	0	30	50	70	80	100															
実績	0	100	100	100	100	-															
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																		
	教職員が利用する校務用パソコンを効果的、効率的に管理する環境を整備することができた。																				
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																		
	<p>■ I C T環境が整備されているが、小学校に比べ、中学校で日常の授業に十分に活用されていない現状が見受けられる。</p> <p>■ I C Tを活用した授業は、生徒の興味関心を引き出し、学習へのモチベーションを高める効果があると思う。継続的に I C T授業を研究し、効果的な授業実践をお願いしたい。</p> <p>■ 学校公開時、低学年で教科書を使わず（机にも出さず）、モニターのみで授業を行っていたのを見学したが、子どもたちが集中して先生の話の聞いている様子がうかがえた。学年により、 I C Tの活用法も違ってくると感じた。また、 I C Tへの苦手意識を持つ教職員への研修等のフォローも引き続きお願いしたい。</p> <p>■ タブレット端末を活用した授業の際に、不慣れな様子でうまく操作できていない児童がいる。学習の遅れを生じかねないので、端末操作の習熟度に差が生じていないか常に注視する必要がある。</p>																				
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																		
	<p>◆パソコン、タブレット、スマホは、日進月歩で進化がはげしく、最近は A I 技術が発展し、文書提案や画像処理、検索等が素早くできるようになった。人工知能が進化する折、どう活用していくかが課題となる。</p> <p>◆時代の変化に対応した I C Tの有効かつ効率的な活用が進んでいるものと思われる。ただ、 I C Tに頼りすぎることをないよう適切な使用を指導してもらいたい。</p> <p>◆ハードの整備は完了したとのこと。教育的効果の可能性は、きっと無限だと思うので、研修の実施などでソフトも（指導者も）アップデートして欲しい。</p>																				
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																		

【担当】教育総務課・学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	9 教職員の働き方改革の推進
主な取組	<p>（１）学校における働き方改革の推進</p> <p>○ システムの活用による教職員出退勤管理により、適正な勤務時間の管理・把握及び分析を行い、必要な支援の充実に努めます。</p> <p>○ 学校閉庁日の設定、教職員研修の見直し、調査・依頼事項の削減等により、長時間勤務の是正に向けた業務改善を進めます。</p> <p>○ スクールサポートスタッフや部活動指導員の活用等による業務支援体制の充実に努め、I C T支援員や外部人材等を有効的に活用しながら、教職員がゆとりを持って子どもたちに対して効率的・効果的な教育活動が行える環境づくりを進めます。</p> <p>○ I C T環境整備における校務支援システム更新による教員の校務効率化、勤務時間の可視化による働き方改革に向けた意識啓発に取り組みます。</p>



実施事業	教職員の働き方改革						
令和6年度の取組実績	○外部（地域）人材の活用推進 ○勤務時間の把握と業務の見直し ○週あたり授業時数1コマ減の取組（小2～中3）						
成果	○全ての学校で働き方改革を重点目標に位置付けて実施 ○1年間で延べ1,627人の外部人材の活用（R5 1,550人） ○小学校教科担任制推進校における、高学年担任の持ち授業時間数の減少						
課題・目標	○働き方改革の更なる推進 ○特定の教職員への業務負担の偏り ○教科担任制、学校サポーターなど、新しい制度の効果的活用						
数値目標	教職員の1か月の平均超過勤務時間（時間）						
	年度	（基準値） R2	R3	R4	R5	R6	（目標値） R7
	目標	33.0	32.0	32.0	31.0	31.0	30.0
	実績	33.0	31.0	29.0	28.2	30.0	－
担当課評価・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	外部人材の活用が浸透し、教職員の業務負担軽減に繋がっている。引き続き教職員の業務改善と意識改革を推進していく。						
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■平均超過勤務時間数は目標値を下回ってはいるが、ここ3年間はほぼ横ばいの数値となっている。外部人材登用やICTの活用が業務負担軽減に繋がっているが、特定の教職員に業務が集中していることも懸念されるため、更なる働き方改革を進めてほしい。						
	■制度の活用や地域への呼びかけ等により働き方改革が進んできている。システムで勤務時間を把握しながら個人差の解消にも努めてほしい。						
	■外部人材の活用をさらに推進し、教職員がゆとりを持って生徒に接することができるようお願いしたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	■外部人材の活用は前年と比べて増加している。一方で、減少傾向にあった教職員の1か月の平均超過勤務時間数が、令和6年度は増となった。長時間労働を解消することは教育活動の充実や優秀な人材の確保に繋がるものであるから、今後とも様々な視点から働き方改革を進めて頂きたい。						
	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆2学期制ともからめて多忙化解消のため週時間小2～中3の1時間削減は、授業研修や公務処理や添削、テスト点付け、評価等、負担軽減の一助として有効であると思う。さらなる、中学の部活動問題等前進すると良い。						
	◆教職員が過度の業務負担を感じ余裕のない状況では子どもへの適切な指導が行えないので、負担要因をはっきりさせたいうで改善への取り組みを進めてもらいたい。						
◆外部人材の活用は、先生方はもちろん、子どもたちの学力向上だけでなく、自己肯定感の向上にもつながると思うので、今後とも是非取組みを広げてほしい。							
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	10 学校給食の充実																										
主な取組	(1) 食育の推進 ○児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るために、学校給食を教材とした継続的な食指導と教科等における食に関する指導の推進に努めます。また、効果的な食に関する指導を計画的に推進するため、保護者向けの講演会、学校・家庭・地域への啓発や情報提供など、連携した取組を目指します。																										
実施事業	教科や領域における栄養教諭等を活用した食に関する指導の充実																										
令和6年度の取組実績	○食に関する授業の実施 ○学校給食センター見学の実施 ○給食時間の食に関する指導の実施 ○保護者及び町民を対象にした給食試食会の実施																										
成果	○栄養教諭と学校栄養職員2名が小中学校・幼稚園で年間71回の食に関する授業を実施し、児童生徒の食に関する知識や理解を深めました。 ○小学校児童が給食センターを訪れ、調理工程や衛生的な調理方法などを学びました。(豊岡小2年、日出小2年、藤原小1年、大神小1年) ○給食の時間の指導に、地元食材を提供していただいた生産者の方を学校にお招きし、地元の農産物について学ぶ機会を設けました。 ○保護者試食会を年間5回、初めてとなる町民試食会を1回実施しました。町民試食会では、幅広い世代の方々から貴重なご意見を伺うことができました。																										
課題・目標	○食の指導において、児童生徒が地元の食材に触れ、生産者の想いや地域への理解を深める機会を設けるため、今後も町内産食材の積極的な活用に努めます。 ○町内5小学校全てのセンター見学ができませんでした。行われなかった学校と相談し、参加可能な日程等について調整します。 ○保護者試食会では、参加希望者が少ない日がありました。献立表やInstagramの情報発信を工夫して、参加者の増加を図ってまいります。																										
数値目標	学校での教科・領域等による食に関する指導回数(回) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>(目標値) R7</td></tr><tr><td>目標</td><td>75</td><td>71</td><td>72</td><td>73</td><td>74</td><td>75</td></tr><tr><td>実績</td><td>75</td><td>72</td><td>73</td><td>78</td><td>71</td><td>-</td></tr></table>						年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7	目標	75	71	72	73	74	75	実績	75	72	73	78	71	-
年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7																					
目標	75	71	72	73	74	75																					
実績	75	72	73	78	71	-																					
担当課評価・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	生産者の給食時間への参加や町民試食会といった新たな取り組みによって、例年以上に食に関する知識や理解の向上に貢献できたと考えられます。 しかしながら、給食センター見学は全小学校で実施できなかったこと、保護者試食会においても参加者数にばらつきが見られたこと、さらに食に関する指導の実施回数が減少したことといった課題がありました。																										
	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■生産者の給食時間への参加や町民試食会といった新たな取組は、幅広い世代の方々と食育に関して意見交換ができ、とてもいい取組だと思う。今後も継続していただきたい。 ■学校での指導回数が前年より減少して目標回数に届かなかったことは残念。一方で、地元食																										

教育委員 評価・意見	<p>材の生産者との交流など工夫を凝らした食育が行われていることは好ましく、ぜひ継続してほしい。</p> <p>■食に関する授業が色々な手法で実施されていることや新しい取り組みとして町民試食会を開催したことは、大変評価できる。さらに、地元生産者からの生の声を聞くことにより、地域の生産物のありがたさを体感できていると考えられる。可能であれば生産現場（圃場や調整）の様子を動画等で紹介してはどうか。</p> <p>■栄養教諭による授業やセンター見学、保護者試食会など様々な取り組みにより食育の推進が図られている。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆いろんな手法を使って食育指導がされていて、大変素晴らしい。今後もセンター見学や保護者試食会などの参加率を上げる取り組みをしてほしい。</p> <p>◆給食試食会の実施やInstagramの活用等、給食に関する情報提供はよくできていると思う。児童生徒に対しては、食材生産者の話を聞く機会を設けたり給食センター見学を行ったことで、食に対する関心を高めていってもらいたい。</p> <p>◆安心・安全で、子どもたちの成長に向けてバランスのとれた給食の提供や保護者への広報、情報提供などよく取り組んでいる</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	10 学校給食の充実
主な取組	<p>（２）給食内容の充実</p> <p>○安全・安心でおいしい給食を提供するため、学校給食で使用する食材の安全確保と地場産物の利用の拡大に努めます。献立内容の充実や安全な食物アレルギー対応など、子ども、保護者のニーズに応えるとともに、栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の健康増進・体力の向上を目指します。</p> <p>○また、定期的に給食アンケートを実施し、メニュー構成や食育の取り組みに生かしていきます。</p>
実施事業	学校給食食材調達事業
令和6年度の取組実績	<p>○町内産食材の使用率拡大の取り組み</p> <p>○給食費収入の増加の取り組み</p>
成果	<p>○町内産野菜の納入について、町内出荷団体、青果卸売業者に対し、積極的に働きかけました。</p> <p>○町内の米生産団体、(農) 軒の井生産組合や(株) 佐野ファームから直接精米を購入し給食に提供しました（R5：240kg→R6：900kg）</p> <p>○町の新たな特産となる食材、白いとうもろこし白雪姫や野菜等の新芽マイクログリーンズなどを初めて給食に提供しました。</p> <p>○食材価格の高騰に対応するため、教職員等の給食費を値上げ改定しました。</p> <p>○給食費の未納が常態化していた保護者を訪問し、未納分の完納、または完納に向けた納付誓約をいただくことができました。</p>
課題・目標	○町内産野菜の購入を希望しておりますが、集荷団体等からの応札が少なく、使用量の増加が難しい状況です。

	○今後、食材価格がさらに高騰するような事態となれば、教職員等の給食費について、さらなる見直しを検討する必要があります。						
数値目標	町内産野菜の使用率（％）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	25.1	25.6	26.1	26.6	27.1	27.6
	実績	25.1	22.8	25.6	26.5	21.4	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	町内産食材の使用率拡大の取り組みは、記録的な天候不順による野菜の不作の影響を受け、目標使用率には届きませんでした。しかしながら、地元産の米や町の新たな食材を提供できたことは食育の観点から意義があったと思います。 また、給食費収入増加の取り組みにおいては、教職員等の給食費改定や未納解消に向けた働きかけが奏功し、一定の改善が見られましたと考えます。						
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■食材の価格が安定しない中で地産地消を進めるなど、給食内容の充実に努力している。給食費の無償化を見据えながら、今後も保護者等からのニーズに応えてほしい。						
	■物価高騰や天候不良等で地場野菜や米等の供給は大変難しくなっているが、地元生産物のありがたさを実感できる取り組みである。色々課題は多いが、子どもたちの心身の健康や、食育の観点から、この取り組みを継続してほしい。						
	■給食費の未納解消に成果を挙げていることは好ましい。農産物の出来は天候の影響を受けるので、町内産野菜の使用率が目標に達しなかったことはやむを得ないが、今後とも地域の食材や食文化への理解を深める取り組みを進めてほしい。						
	■食材価格の高騰が続く中、地元産の米や町の新たな食材を給食に提供できたことは、子ども達の食育に貢献出来ている。安全と価格と栄養とのバランスを取りながらの献立作りはとても大変だと思うが、今後も引き続き、町内産食材の使用率向上、そして安全・安心でおいしい給食の提供をお願いしたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆栄養バランスのとれた給食の維持は、保護者はもちろん良識ある大人はみんな望んでいることだと思う。不足する食材費は町で負担して、給食水準を維持してくれていて、とても感謝している。						
	◆食材調達方法の制約や必要量の確保などの課題はあるが、引き続き地元食材の利用を進めてもらいたい。食材価格等の高騰でたいへんな時期ではあるが、給食費の値上げはできるだけ避け、町の子育て支援の一環として対応を検討してもらいたい。						
	◆町内野菜の使用率を増やすには町内での安定した量の食材を提供可能な出荷団体や青果卸売り業者に働きかけたということで、用量は増えているようだが、今後も高騰の折だが、取り組みを進めていきたい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
------	-----------

基本的施策	10 学校給食の充実		
主な取組	<p>(3) 衛生管理の徹底</p> <p>○学校給食衛生管理基準による衛生管理の徹底を図るため、納入食材は確実な検収を行い、衛生的に保管することとし、調理工程では確実な温度管理に努めます。</p> <p>○また、異物混入を防止するために、様々な要因を想定し、作業工程の打合せや厨房機器・器具類のチェック等を入念に行います。</p>		
実施事業	—		
令和6年度 の取組実績	○学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生マニュアルの徹底		
成果	○食中毒や危険異物混入等の事故はなく、年間を通して安全な給食を提供することができました。		
課題・目標	○衛生管理の徹底による安全な給食の提供を最重要課題として、確実な管理体制の継続に努めます。		
数値目標	当該事業に関する設定なし		
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	食中毒や異物混入等の重大な事故を発生させることなく、計画的な給食運営を達成できました。今後も、これまで培ってきた衛生管理を徹底し、引き続き安全な学校給食を提供できるよう努めてまいります。		
教育委員 評価・意見	評価	4.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
	<p>■新学校給食センター稼働後、順調に運営されている。今後とも衛生管理に万全を期して無事故を継続してほしい。</p> <p>■衛生管理の徹底により、今後も安全安心な給食を提供してほしい。</p> <p>■学校給食センターと現場が連携して、衛生管理が徹底されている。</p> <p>■引き続き衛生管理徹底による安全な給食の提供を行っていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆学校給食の委託業者は細心の注意を払い取り組んでいることと思うが、チェック体制を強化し、食中毒や異物混入のない安全安心な給食を引き続き提供してもらいたい。</p> <p>◆異物混入や納入食材の検収を万全にして引き続き安全に事故なく、計画的な給食運営ができています。</p> <p>◆毎日、安心・安全な給食を提供しつづけることは、大変な努力がいることと思いますが、実践できていて素晴らしいです。今後もよろしくお願いいたします。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	11 地域とともにある学校づくりの推進
主な取組	<p>(1) 外部人材の活用</p> <p>○地域人材等を活用し、学校と家庭、地域が一体となった体制整備に努め、多様な学習活動を推進します。</p>
実施事業	学校運営協議会



令和6年度 の取組実績	○学校運営協議会や地域コーディネーターが主導した外部人材の活用 ○日常的な外部人材活用の推進																																												
成果	○1年間で延べ1,627人の外部人材の活用（R5 1,550人） ○全ての学校で、学校運営協議会と学校教育目標の共有を行った。 ○特に中学校では、外部人材の活用内容を広げ、大幅に増加した。																																												
課題	○取組の進んでいる学校の工夫や留意点を共有していく必要がある。 ○今後は特別授業の実施より、日常的な参加・参画（活用）を実施 ○中学校での活用推進と定着																																												
数値目標	<div>（小・中学校別）外部人材を活用した特別授業を実施した開催数（年間）</div> <table><tr><th></th><th>年度</th><th>（基準値） R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>（目標値） R 7</th></tr><tr><td rowspan="2">小</td><td>目標</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr><tr><td>実績</td><td>15</td><td>38</td><td>57</td><td>61</td><td>97</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="2">中</td><td>目標</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>実績</td><td>10</td><td>10</td><td>14</td><td>14</td><td>58</td><td>－</td></tr></table>								年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	小	目標	15	16	17	18	19	20	実績	15	38	57	61	97	－	中	目標	10	11	12	13	14	15	実績	10	10	14	14	58	－
	年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																																						
小	目標	15	16	17	18	19	20																																						
	実績	15	38	57	61	97	－																																						
中	目標	10	11	12	13	14	15																																						
	実績	10	10	14	14	58	－																																						
担当課評価 ・理由	担当課評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 外部人材活用の意識が高まり、取組が進むとともに、各校の方法の共有が始まっている。特に中学校では、幅広く外部人材を活用できるようになった。																																										
教育委員 評価・意見	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 ■コロナ禍以降、特別授業実施回数が大きく増加していることから、外部人材の活用が拡大していることがわかる。地域に開かれた学校作りが進んでいる。 ■外部人材を活用した特別授業を効果的に取り入れ、地域との連携を深めていただきたい。 ■外部人材を活用した特別授業の開催数は、小中学校とも前年実績や目標回数を大きく上回っている。また、各校のノウハウが共有されつつある。外部人材を活用することは、教職員の負担軽減のみならず、児童・生徒が地域の方々と触れ合う機会ともなるものであるから、更に拡充されることを期待する。 ■外部人材の活用機会は、今年度飛躍的に増えてきており、「社会に開かれた教育過程」の意義を十分に満たしている。外部人材活用は、子どもたちや教職員にとって多くのメリットがあるが、反対に教職員との役割の分担化や情報の共有化等体制整備に努めてほしい。																																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 ◆学校運営協議会や地域コーディネーターがよくお世話をしてくれて、様々な学習活動に参画してくれている。 ◆学校と地域の結びつきは、将来の地域活動の維持・活性化の面からも望ましいことであり、今後ますます深めていく必要がある。外部人材の活用で大人と子どもがお互い顔見知りとなり、話ができる状況を作っていってほしい。 ◆外部人材の活用が年々増加していて、さらに今年は中学で大幅に増えたことはとても素晴らしい。外部人材の活用は、子どもたちの学力向上だけでなく、自己肯定感の向上にもつながると確信しているので、今後も広げていってほしい。																																										
総合評価		5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																																										

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実						
基本的施策	11 地域とともにある学校づくりの推進						
主な取組	(2) 学校情報の公開 ○各学校では、地域住民も参加できる学校公開日を年3回以上設定します。また、学校便りや学校ホームページ等を活用して学校の活動を公開し、開かれた学校を目指します。						
実施事業	学校情報の公開						
令和6年度の取組実績	○各学校で年間3回～4回以上の学校公開を行う。						
成果	○各学校でほぼ計画どおり学校公開が実施できた。 ○地域の方や学校運営協議会委員等の学校公開参加も再開した。 ○学校ホームページ等、様々な連絡手段による参加呼びかけができた。						
課題	○ICTを活用した学校情報の公開等の検討・実施						
数値目標	年間3回以上の学校公開を行った学校の割合						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	すべての学校が年間3回以上の学校公開を計画し、実施できた。						
教育委員 評価・意見	評価	4.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				
	■学校HPを地域の方が閲覧することは少ないと考えられるので、学校活動の様子をこまめにアップして、HPの周知を図ってほしい。どのくらい地域の方が学校公開に足を運んだか記載してほしい。 ■学校と地域が連携し、共に子どもたちの成長を一緒に支え合ことがとても大切であると思う。引き続き、学校公開を定期的に行うとともに、学校便りや学校ホームページ等を活用することで開かれた学校を目指していただきたい。 ■個人情報に配慮しながら、色々な機会をとらえて学校情報の公開がなされている。 ■学校公開の実施や学校通信の全戸回覧など、住民の目に付く取り組みが積極的に行われている。今後とも継続されることを期待する。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆学校公開は年3回以上行われており、開かれた学校づくりができていていると思う。どのくらい参加者がいるのかわからないが、地域住民が参加したくなる仕掛けをお願いしたい。 ◆学校公開が年3回以上どこの学校も行われていて地域の方や保護者や祖父母の方々も参加されて、様子が分かって良好である。 ◆外部人材の方たちの活力の素は、子どもたちの姿を実際に目にすることだと思うので、今後も開かれた学校づくりを進めてほしい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
------	----------------

基本的施策	12 地域活動の充実																											
主な取組	(1) 住民ニーズに応じて事業を再構築、広く参加を呼びかけ、活動の担い手を発掘・育成します ○自治公民館長など各役員を中心に広く参加者を募ります。 ○研修内容を充実させ、地域を担う人材を育成します。 ○インターネットやSNSの活用など周知方法の充実を図ります。																											
実施事業	地区公民館事業																											
令和6年度の取組実績	○体育祭（荒天による中止地区あり）、ふるさとまつりは全地区で実施に向けて取り組むことができた。 ○成人ソフトボール大会、その他軽スポーツイベントも各地区で開催できた。																											
成果	○地区公民館だより（広報誌）を11回発行（各地区累計） ○地区公民館の主催教室及び講演会等でも、参加者数は増加傾向																											
課題・目標	○地域のつながりを新しいかたちに再構築すべく、体育祭やふるさとまつりなどの公民館行事を、地域と協働しながら開催 ○希薄化したコミュニティの連帯感、再び醸成していく【目標】																											
数値目標	<table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>(目標値) R7</td></tr><tr><td>目標</td><td>17</td><td>13</td><td>13</td><td>22</td><td>28</td><td>34</td></tr><tr><td>実績</td><td>17</td><td>13</td><td>14</td><td>11</td><td>11</td><td>-</td></tr></table>							年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7	目標	17	13	13	22	28	34	実績	17	13	14	11	11	-
年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7																						
目標	17	13	13	22	28	34																						
実績	17	13	14	11	11	-																						
担当課評価・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	時代の変化とともに住民の意識や行動様式は大きく変化している。今の時代や住民ニーズに適した公民館活動を模索する必要がある。																											
教育委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	■地域活動の充実が、主催者や地区役員の負担増になっている傾向がある。新しく転入した住民は、地域行事に対して情報が少なく、関心がないように感じる。どうすれば参加しやすくなるイベントができるか、再考が必要。 ■他の地区公民館と連携し、情報交換を行ったりしながら、それぞれの地域の特性や住民のニーズに合わせて活動内容を柔軟に変化させ、今の時代に適した公民館活動をお願いしたい。 ■各種行事に際して、参加者が毎年ほぼ同じ人たちであるなど広がりを欠いている。高齢化が進む中、住民の意識やニーズにあった活動が望まれる。 ■従来の活動やイベントを維持しつつ、現在の状況に対応して公民館活動を展開していきたいが、困難さを感じる面もある。																											
第三者委員会委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	◆イベントが復活する中で、地域のコミュニティの良さを体感した人たちが少しずつ増えているように思う。 ◆地域コミュニティの希薄化が進む中で、各地区公民館職員はInstagram等の活用により行事案内や取組状況を発信しており評価できる。紙媒体とデジタル媒体を組み合わせる情報発信しながら、参加しやすく楽しめる事業を提供していただきたい。 ◆体育祭、ふるさとまつりは各地区共によく参加ができているけれど、参加者が固定化したり、高齢化してきている現状がある。競技の内容や時間の短縮を行いたい。																											



総合評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
------	---	------------------------

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																											
基本的施策	12 地域活動の充実																											
主な取組	<p>（２）住民ニーズに応じて事業を再構築、広く参加を呼びかけ、活動の担い手を発掘・育成します</p> <p>○地区公民館事業（地区体育祭やふるさとまつりなど）を住民が満足して参加できる事業に再構築します。</p> <p>○周知方法の充実を図ります。</p>																											
実施事業	中央公民館事業																											
令和６年度の取組実績	<p>○地域のリーダー研修会（自治館長研修）は目標のとおり２回開催</p> <p>○主催教室は参加者数が大きく増加した前年度並みを維持（４０１人）</p> <p>○主催教室開催数（公民大学含む）は前年度より多く実施（９教室）</p>																											
成果	「自治公民館連絡協議会研修」を「地域リーダー養成研修開催回数（年間）」と位置付け、年間４回の研修を計画的に進めていく。																											
課題・目標	文書（紙媒体）での広報活動については、（総務課による）回覧数削減等の影響により、前年度より減少した。今後は、ＳＮＳなど紙媒体以外の周知方法を活用していく必要がある。																											
数値目標	<p>地域リーダー養成研修（年間回 ※中央公民館が全自治館長と接する回数）</p> <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>実績</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>－</td></tr></table>							年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	2	3	3	4	4	5	実績	2	3	1	2	4	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																						
目標	2	3	3	4	4	5																						
実績	2	3	1	2	4	－																						
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	一定の成果は上がっているが、さらに住民ニーズ等を把握し、新たな公民館活動を構築するために継続的な調査研究に取り組むことが大切である。																											
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	<p>■今後も、地域の実情や構造的な変化に対応しながら、公民館活動を支援してほしい。</p> <p>■高齢化が進む中、趣味を楽しんだり、健康を維持すること等に関心を持つ人が増えている。住民のニーズにあった新たな教室を開催するなど、幅広い公民館活動を展開してほしい。</p> <p>■ＳＮＳのこまめな情報発信で、閲覧数が増加する傾向にあるので、今後も最大限活用してほしい。ＳＮＳ等でアンケート調査をして、住民の意見を分析することも検討してほしい。</p> <p>■新たな公民館活動を構築するとともに、ＳＮＳを活用した広報活動にも力を入れていただきたい。</p>																											
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	◆近年、役職を引き受けてくれる人がいないという話をよく聞く。地区の活動を活性化させるためには、リーダーの存在とまわりの協力が必要であり、研修会や意見交換の場を設けながら地域活動の充実を目指してもらいたい。																											
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実						
基本的施策	13 多様なニーズに応じた学習機会や学習内容の充実						
主な取組	(1) 各世代のニーズに応じた学習機会を提供するとともに、その必要性を啓発します ○住民ニーズに応じた事業を構築します。 ○行政課題に対しては他課、他機関と連携した事業展開を行います。 ○広報により、定期的に活動内容を周知するとともに、教室への参加募集を図ります。						
実施事業	公民大学、公民館主催教室、公民館自主教室、デジタル活用支援推進事業、事業広報、人権教育など						
令和6年度の取組実績	○「つどい」「まなび」「むすぶ」場として多様な学習機会を提供した。 ○スマホ教室を開催し、社会的なデジタルデバイドの解消に取り組んだ。 ○多くの児童が人権について考えることのできる機会を創出した。						
成果	○主催教室について、参加者数はある程度維持できている。今後も、一定期間を経過したのち自主教室への移行を行い、教室全体の活性化を図る。						
課題・目標	○公民大学は、町民の興味が高いテーマを選定し、おおむね2か月ごとに、年5回の開催を目標としていく。						
数値目標	公民館主催教室開催数（年間）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	5	6	6	7	7	8
	実績	5	7	9	8	9	－
	公民館主催教室参加者数（年間）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	140	161	165	175	180	180
	実績	140	153	372	473	401	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	数値目標は達成している。今後も町民の興味が高いニーズを把握するために、アンケート調査の実施なども検討したい。						
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■公民館主催教室参加者数は、目標値を超えている。ニーズを探りながら、充実した活動の継続が望まれる。 ■公民館は、子どもから高齢者まで、幅広い年代の人々が利用できる施設であるため、住民のニーズに対応した、みんなが楽しく参加できる教室の開催をお願いしたい。 ■公民館主催教室の開催数は維持されているが、前年度に大きく伸びた参加者数が今年度減少したことは残念。主催教室や自主教室が、多様化していく住民ニーズを反映しつつ充実していくことを期待する。 ■各世代、学びたい学習内容はその都度変化しているので、意見を集約分析してテーマを選定してほしい。						
第三者委員会	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆公民大学や主催教室など、広く町民が集い学べる場を提供してもらっている。できるだけ町民の要望に沿った内容にさせていただくとともに、後々活動を継続してもらえるよう誘導して						

委員 評価・意見	もらいたい。 ◆今、子どもたちの英語力の向上やいじめ等の人権学習や生成ＡＩの学習等のニーズが高まっている。そんな子どもたちの学びの場を持てる機会があるといい。		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																										
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成																										
主な取組	(１) 子育て世代にニーズの大きい、放課後等子ども教室を拡充 ○地区公民館事業の充実に努め、地域との連携により豊岡、川崎地区以外へ放課後子ども教室を拡充します。 ○「学びの未来創造事業」（県補助）を活用し事業を実施します。（土曜等教育活動、放課後教育活動、家庭教育講座）																										
実施事業	地区公民館放課後子ども教室（川崎っ子公民館クラブ、豊岡子ども教室、大神子ども教室など）																										
令和6年度の取組実績	○平日は、大神を除く4地区で放課後子ども教室を開催 ○休校日（土日祝等）は、全5地区で放課後子ども教室を開催																										
成果	○放課後や学校の休日に子ども教室を開催することで、宿題や遊び、花植え、芋ほり、クリスマス会等、家庭ではなかなかできない体験機会を提供																										
課題・目標	○学校との連携及び地域ボランティアの確保 ○地域における主体性の意識付けや保護者の参画 ○各地区行事の好事例を横展開し、内容の充実化																										
数値目標	地区公民館放課後子ども教室開設数（箇所） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>実績</td><td>2</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	2	3	3	3	4	5	実績	2	4	5	5	5	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	2	3	3	3	4	5																					
実績	2	4	5	5	5	－																					
担当課評価・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	全5地区で放課後子ども教室を開催することで、子どもの多様な体験機会を確保することができている。																										
教育委員評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■放課後や休日等に子どもたちの安全な居場所が全校区で確保できていることは、保護者にとって安心できる。運営には地域住民やボランティアの協力が必要となるので、人の確保について尽力してほしい。 ■共働き世帯の増加や地域社会の教育力の低下に伴い、放課後の子どもの安全を確保し、豊かな人間性を養う環境を整えることが重要になっている。前年度に引き続き、5地区すべてで放課後子ども教室が開催されていることは好ましく、ノウハウを地区間で共有してさらなる充実を図って頂きたい。 ■家庭ではなかなか出来ない体験機会を提供してくれることは、子育て世代にとってとてもありがたい。今後も放課後子ども教室を開催して、子どもの多様な体験機会を確保していただきたい。																										

	■場所や人員確保の問題もあると思うが、子育て支援につながる放課後子ども教室の拡充に努力してほしい。		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	◆各地区の公民館職員や各地区担当者の方が熱心に引っ張っていただけているからだと思う。地域における主体性や保護者の参画・協力が大事になる。		
	◆各地区公民館の職員の方や、各地区担当者の職員の方が、熱心に取り組んでくれているからこそだと思う。日々の子どもの居場所は、子どもが選べるくらいいろいろあることが理想だと思う。		
	◆放課後子ども教室は地域の方々の理解、協力がなくてはできない事業なので、内容を広く紹介し協力者を増やすとともに、子どもたちには様々な体験を通して楽しく学んでもらいたい。		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																										
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成																										
主な取組	(２) 子どもと保護者のニーズに沿った様々な学びの機会を提供し、子どもの可能性を広げます ○体験教室を開催																										
実施事業	公民館子ども教室																										
令和６年度の取組実績	○県補助「地域協育力向上事業」を活用して、放課後子ども教室を開催 ○夏季休暇における学びの場を提供するために、町子連主催「夏休み子ども教室」（８教室）を実施																										
成果	○地域のマンパワーを活用した体験・交流の場を提供することができた。 ○海洋や海産物に慣れ親しむ場として、自然体験「うみうみ教室」を開催した。																										
課題・目標	○地区公民館及び学校との連携、地域ボランティアの確保 ○場当たりの教室（企画）ではなく、子どもたちが興味を持ち、かつ、学びや気づきに発展するように内容を吟味する。																										
数値目標	<table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>20</td><td>20</td><td>46</td><td>54</td><td>58</td><td>60</td></tr><tr><td>実績</td><td>20</td><td>13</td><td>36</td><td>45</td><td>75</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	20	20	46	54	58	60	実績	20	13	36	45	75	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	20	20	46	54	58	60																					
実績	20	13	36	45	75	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	色々なテーマで学習の場を提供でき、夏休みにこどもたちの楽しい思い出作りにも寄与している。																										
	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■体験教室等の開催数は年々増加しており、関係者の尽力の賜物である。夏休み子ども教室は、毎年参加を楽しみにしている子どもも多いと思う。教室ごとの参加率も加味して、毎年内容をブラッシュアップしてほしい。																										

教育委員 評価・意見	<p>■少子化や、地域における人間関係の希薄化が進行しており、子どもたちが地域との触れ合いの中で豊かな人間性を養い、生きる力を育む環境を整えることは大きな意義がある。体験教室などの開催数が大きく伸びたことは好ましく、今後とも実施回数の増や内容の充実が図られることを期待する。</p> <p>■毎年、新たな視点から体験・交流の場が提供されており、開催数も増えている。</p> <p>■「夏休みこども教室」は、日頃経験出来ないことを体験でき、夏休みにとても楽しい思い出づくりになると思う。引き続き様々なテーマで学習の場を提供し、子どもたちが興味を持ち、かつ、学びや気づきに発展する内容を取り入れていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆町子連は各地区子ども会と連携し、地区での開催が困難な事業、町全体で実施したい事業を取捨選択し、子どもたちが楽しめ思い出に残るような事業を実施してほしい。</p> <p>◆自然体験や夏休みでの自由研究に結びつくような学びを取り入れると色々とアイデアが出てくるのでは。</p> <p>◆夏休み教室に加え、今年度は冬休み教室も計画されていて、とても素晴らしい。体験は、子どもたちにとって、とても大切な糧になると思う。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																										
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成																										
主な取組	(3) 「子ども会育成会」を支援し、地域で子どもを育てる取組を促します ○子ども会育成会連絡協議会支援事業 ○ジュニア・リーダースクラブ支援事業																										
実施事業	子どもスポーツ大会、指導者・リーダー研修、かべ新聞、綱引き、児童文化祭、ジュニアリーダー研修などを支援																										
令和6年度の取組実績	○日出町児童文化祭（芸能発表、かべ新聞）の実施 ○指導者・リーダー研修会、夏休み子ども教室ほか実施																										
成果	○イベント数の目標を達成し、単位子ども会活動の活性化に寄与 ○JL春期研修会の参加者が、新たにジュニアリーダーとして4名加入																										
課題・目標	○ジュニアリーダー（中学生）の増加（時点合計10名） ○子どもと保護者のニーズに沿った様々な学びの機会を提供する【目標】																										
数値目標	「日出町子ども会育成会連絡協議会」関連のイベント数 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>1</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr><tr><td>実績</td><td>1</td><td>3</td><td>12</td><td>16</td><td>15</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	1	14	14	14	14	14	実績	1	3	12	16	15	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	1	14	14	14	14	14																					
実績	1	3	12	16	15	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	数値目標は達成しているが、子ども会活動を休止している地区が増えている現状で、子ども会員数増加に対して、さらに具体策を講じていく。																										
	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								



教育委員 評価・意見	<p>■子どもと保護者のニーズに沿った学びの機会を提供し、子ども会員数の増加を目指していたきたい。</p> <p>■近年、子どもの規範意識の低下が懸念されている。子ども会活動は、遊びを通じて「対人関係」、「ルールやマナー」等を学べる貴重な機会であるから、子ども会が存続できるように支援を強化して頂きたい。</p> <p>■日出町子ども会育成会が60周年を迎えた。これまでに積み上げてきた活動の重みを感じる。地域の状況に厳しさはあるが、活動の意義は大きい。</p> <p>■子ども会活動が減少している中で、新たなイベント（「逃走中」等）で多くの参加があったことは重要。楽しい企画であれば、また参加したくなるので、今後も特色あるイベントを企画して、会員数増加の一つのきっかけにしてほしい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆体験教室や夏休み子度教室のテーマ等、より、興味や関心を引く内容にして参加を促したい。</p> <p>◆ジュニアリーダー活動は大人と子どもの橋渡しの役割を担い、中学生時代の貴重な経験になると思う。大人になっても地域のリーダー的役割を果たせる人材と成り得るので、十分支援していてもらいたい。</p> <p>◆子ども会担当の町職員さんのアイデアにより、「逃走中」「怪談ナイト」など新しいイベントが実施され、話題になったおかげで加入率は下げ止まったように思える。入会者の満足度は高いので、広げる取り組みが必要。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																										
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進																										
主な取組	<p>（１）図書館の利用促進</p> <p>○町立図書館を「読書のまちづくりの拠点」とし、乳幼児から高齢者まで世代に応じた資料の充実と情報提供を行い、誰もが読書に親しみやすい図書館となるよう機能強化を行います。</p>																										
実施事業	図書館運営事業																										
令和6年度の取組実績	<p>○ミニコンサートや毎月の展示等、各種イベントの実施</p> <p>○書籍購入額約10,309千円</p>																										
成果	<p>○各種イベントや毎月の展示等により前年に比べ約7,500人来館者数が増加した。</p> <p>○令和6年度はチャレンジ枠により（R5）95,091冊⇒（R6）99,795冊と4,704冊増</p>																										
課題・目標	<p>○予算の都合上、無償の出演者（ミニコンサート・講演会）で対応しているが限界がある。</p> <p>○日出町の人口規模では15万冊の蔵書が必要。</p> <p>○寄贈や雑誌スポンサー等あらゆる手立てで蔵書を増やして行きたい。</p>																										
数値目標	<p>町立図書館来館者数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>（基準値） R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>（目標値） R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>57,744</td><td>92,000</td><td>94,000</td><td>96,000</td><td>98,000</td><td>100,000</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>57,744</td><td>71,045</td><td>79,440</td><td>81,845</td><td>89,419</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>						年度	（基準値） R2	R3	R4	R5	R6	（目標値） R7	目標	57,744	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000	実績	57,744	71,045	79,440	81,845	89,419	-
年度	（基準値） R2	R3	R4	R5	R6	（目標値） R7																					
目標	57,744	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000																					
実績	57,744	71,045	79,440	81,845	89,419	-																					



担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	様々なイベントを行い新規来館者を増やしたい。令和7年度は図書館10周年でもあり色々なイベントを考えている。交流ひろばHiCaLiとも連携し、喫茶室はマルシェを予定している。		
教育委員 評価・意見	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>■来館者数は年々増加しているが、目標人数に届いていない。また、予算に限りがある中、町報で図書の寄贈を呼びかけるなどの取り組みも行われているが、人口規模に見合う蔵書数とは開きがあり、さらなる蔵書の充実を期待する。</p> <p>■来館者は目標には届いていないが、毎年着実に増加しており、読書のまちづくりの拠点としての役割を果たしている。HP等で呼びかけをして、1,000冊以上の寄贈実績ができているが、必要蔵書数にはまだ足りていないため、SNS等いろんな方法で、町外問わず、広く寄贈を呼びかけることも検討してほしい。現在県立図書館や大分郡市広域圏の図書の貸し出しも可能であるが、そのシステムが周知できていないのではないかな。</p> <p>■事業が計画的に実施され、来館者数は増加している。引き続き目標達成に向けて取り組みを進めてほしい。</p> <p>■乳幼児から高齢者まで誰もが読書に親しみやすい図書館となるよう、これからも引き続き様々なイベントを実施することで、新規来館者を増やしていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆ミニコンサートや講演会は、魅力的で興味を引くが、それが図書館利用につながるような工夫があると良い。たとえば、講演に関わる書物を掲示するとかコンサートの音楽雑誌等を用意するとかしたらどうか。</p> <p>◆図書館専用の駐車場が無く、入館しにくいと感じている。図書館を利用したの各種イベントは良いことだと思うので関連予算の増額をお願いしたい。</p> <p>◆限られた予算の中で、いろいろなイベントが実施されていて素晴らしい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	<p>(2) 資料の提供と課題解決支援</p> <p>○町民ニーズを捉えた蔵書、レファレンス機能の充実を図ります。</p>
実施事業	選書、レファレンスサービス
令和6年度の取組実績	<p>○町民ニーズを捉え、かつ、蔵書構成を考えながらの選書。</p> <p>○県立図書館や他市町村図書館など関係機関との連携。</p> <p>○各種研修会などへの参加。</p>
成果	<p>○リクエスト票や窓口での聞き取りなどから、町民ニーズを捉えた選書が出来た。</p> <p>○関係機関との連携により、レファレンス機能の充実を図る事が出来た。</p> <p>○各種研修会などの参加により、職員の資質向上を図る事が出来た。</p>
課題・目標	<p>○引続き町民ニーズを捉えたバランスのよい選書を心掛ける。</p> <p>○県立図書館のシステム更新により、他市町村図書館との連携が容易になったので、より活用をしていく。</p>

	○引続き各種研修会などへ参加し、職員の資質向上に努める。		
数値目標	町立図書館蔵書貸出数（冊）		
	年度	(基準値) R 2	R 3 R 4 R 5 R 6 (目標値) R 7
	目標	96, 657	120, 000 122, 500 125, 000 127, 500 130, 000
	実績	96, 657	111, 229 114, 778 116, 669 121, 254 -
担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	貸出数は昨年より目標値に近づいたが微増。イベントや毎月の展示とも連動して借りて貰う工夫をしたい。		
教育委員 評価・意見	評価	3. 50	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■蔵書貸出数は、年々増加しているが目標冊数に届いていない。今後とも、町民ニーズに沿って蔵書やレファレンス機能の充実を図って欲しい。</p> <p>■若年層の利用が進むような手立てを考えていく必要がある。</p> <p>■ＨＰや図書館等で読みたい本のリクエストができ、さらに県立図書館や大分郡市広域圏の図書の貸し出しも可能になったことで、選べる図書の幅が広がり、貸出数の増加の一助となったと考えられる。今後も利用しやすい図書館を目指してほしい。</p> <p>■町立図書館蔵書貸出数が年々増加しており、これからも町民のニーズを捉えた選書を心掛け、イベント開催等で新規来館者を増加させ、貸出数の増加につなげていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3. 33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆読書愛好者のふれ合いや読書祭り等のイベント等、読書好きな人を増やす手立て等を工夫ができるといいのでは。</p> <p>◆活字離れや電子書籍の利用が進んでおり、蔵書貸出数を増やすことは容易ではないだろう。利用者のニーズや世間のトレンドを調査しながら、選書、増冊をしていてもらいたい。</p> <p>◆町民はもちろん、関係機関と連携して、充実を図ることができていて素晴らしい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	<p>(3) コミュニティセンターとしての役割</p> <p>○関係機関・団体と連携し、子どものころから本に慣れ親しむ環境づくりに努め、人が集う場を作ります。</p>
実施事業	各種イベント
令和6年度の取組実績	<p>○毎月1回ブックスタート・毎月1回ベビー&amp;キッズデー・毎月2回読み聞かせ</p> <p>○定期的に図書館ミニコンサート・講演会等の開催</p> <p>○毎月のテーマ展示等</p>
成果	<p>○利用者は微増だが増えてきている。</p> <p>○日出中ミニコンサートは過去最高の240名来館があった。</p> <p>○毎月テーマを決めて関連本展示をする。テーマ展示目当ての来館者もいる。</p>
	○来館者に飽きられないよう、新規イベントも考える。

課題・目標	○来館者に飽きさせない展示を心がける。 ○他図書館イベント情報等の収集活用。																										
数値目標	町立図書館内行事参加者数（人） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>640</td><td>1,480</td><td>1,510</td><td>1,540</td><td>1,570</td><td>1,600</td></tr><tr><td>実績</td><td>640</td><td>867</td><td>5,673</td><td>7,113</td><td>8,600</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	640	1,480	1,510	1,540	1,570	1,600	実績	640	867	5,673	7,113	8,600	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	640	1,480	1,510	1,540	1,570	1,600																					
実績	640	867	5,673	7,113	8,600	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 様々なイベント開催により参加者数は伸びました。																								
教育委員 評価・意見	評価	4.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 ■誰もが利用しやすい環境を整え、来館者に満足してもらえる新規の展示やイベント開催を継続していただきたい。 ■行事参加者が年々増加し、図書館に足を運ぶ機会が多くなっているのは素晴らしいことである。新しいイベントの立案・実行は大変であるが、行事参加者が来館することで図書館のことを知り、活用するような機会を作してほしい。 ■図書館内行事への参加者数は、年々増加し、目標人数を大きく上回っている。行事に参加した方々を読書活動に繋ぐことが大切であり、更なる工夫を期待する。 ■スタッフの努力により、貸し出し数が年々増加している。多方面の連携を効果的に進め、利用者へ還元してほしい。																								
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ◆様々なイベントを企画して、来館者も増えていて素晴らしい。今後も期待している。 ◆読書が好きな子どもや大人の人たちを中心に人が集まり、読み聞かせや、コンサートなどイベントを持ち町民が集まりふれあえる場としても活用すると良い。 ◆図書館の存在を知ってもらい入館してもらうことが必要であり、努力の結果が表れている。職員の負担は増えるだろうが、魅力的な企画で利用者が増えていくことを期待する。																								
総合評価		5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	(4) 子ども読書活動の推進 ○大分県社会教育課が実施する「子ども司書養成講座」に子どもたちを派遣し、子どもの読書活動を推進します。
実施事業	子ども司書養成講座
令和6年度の取組実績	○町立図書館での図書館実習の実施 ○町立図書館で、こども司書おすすめ本のコーナー展示、POPの作成 ○県立図書館での子ども司書養成講座の引率
成果	○図書館業務について参加者に理解してもらう事が出来た。 ○一般の来館者に子ども司書についての取り組みを知ってもらう事が出来た。 ○他市町村の子ども司書との交流は新しい学びもあり、これからの活動に活かすことができ

	る。																										
課題・目標	○図書館業務について楽しく理解してもらえるような実習の実施。 ○町立図書館での活動回数を増やす。 ○町内の小学校へ「子ども司書養成講座」のより積極的な周知。																										
数値目標	子ども司書認定者数（人） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>8</td><td>15</td><td>22</td><td>28</td><td>34</td><td>40</td></tr><tr><td>実績</td><td>8</td><td>14</td><td>19</td><td>25</td><td>30</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	8	15	22	28	34	40	実績	8	14	19	25	30	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	8	15	22	28	34	40																					
実績	8	14	19	25	30	－																					
担当課評価・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	学校への効果的な周知と併せて校長会でも子ども司書の説明をし、認定者数を増やす。																										
教育委員 評価・意見	評価	3. 25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■町内の小学校への「子ども司書養成講座」の周知を継続するとともに、意義を理解してもらう広報活動をお願いしたい。 ■子どもたちは「子ども司書」の認定を受けることに意義や喜びを感じているのだろうか。例えば、町独自で認定シールを作成して、認定者に交付し、持ち物に貼ってもらうなどで動機付けを行うことはできないか。 ■各学校の取り組みと連携させながら、子ども司書養成に粘り強く取り組んでほしい。 ■子ども司書が他の子ども達に読書の楽しさを伝えられるように、図書館や学校司書が連携して助言・補助していくことが大切である。子ども司書おすすめコーナー等の取り組み等本の楽しさを伝える活動を今後も、実践してほしい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3. 33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆子どもの時に司書のことを学び本や図書館に興味をもってもらうことは素晴らしい取組であり、子ども司書認定者も増えている。学校と連携して参加者、認定者数を伸ばしていつてもらいたい。 ◆大学入試では、理系でも国語の点数に重きを置いているそうで、基本は読書だと思う。学校と連携して、子どもの読書活動を推進する取り組みを進めてほしい。 ◆子ども司書養成講座により、少しずつ読書の良さを理解し、その他の子どもも巻き込んで読書愛好者が増加することを期待する。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興
基本的施策	16 文化・芸術の振興
主な取組	(1) 日出町文化協会の活動補助 ○芸術文化鑑賞イベントの企画運営を始めとした文化協会独自の取り組みをサポートし、団体活動の更なる充実を図ります。また、活動を通じて知名度を上げ、新規団体・会員の入会を促すことで、協会のより一層の発展を目指し、ひいては町全体の文化・芸術活動への関心増を目標とします。
実施事業	文化協会活動補助事業

令和6年度の取組実績	○ひじ産業文化まつりは中止。（※衆議院選挙〔10/27〕のため） ○上記のうち、第21回瀧廉太郎記念音楽会は、会場変更して実施。 ○産業文化まつり代替として、「日出町文化フェスティバル」を開催。																										
成果	○ひじ産業文化まつりは中止となったが、代替イベントなどを通して町民が芸術文化に親しめる機会をつくった。 ○協会員が一丸となって代替イベントを企画・運営し、一体感が醸成された。																										
課題・目標	○高齢化等による会員数（団体）の減少傾向に歯止めがかけられていない。 ○文化協会活動の活性化及び会員数増加につながる事業を展開する【目標】 ○子どもを対象とした芸術文化の体験・習得機会を提供していくこと【目標】																										
数値目標	文化協会会員数（人） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>700</td><td>663</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td></tr><tr><td>実績</td><td>700</td><td>566</td><td>574</td><td>522</td><td>396</td><td>－</td></tr></table> （注）加盟団体へのアンケートから集計。未回答団体有り						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	700	663	700	700	700	700	実績	700	566	574	522	396	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	700	663	700	700	700	700																					
実績	700	566	574	522	396	－																					
担当課評価・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	会員数及び加盟団体数の減少が続いている。そのような中で、会員数の維持、また新規協会員を獲得するために、芸術文化鑑賞事業や関連イベントの充実を図りたいが、具現化に至っていないため。																										
教育委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■高齢化等で会員数が減少していることは残念。若い世代の加入促進や協会の自主運営化のためには、当面、行政等関係機関のサポートが必要となる。 ■加盟団体の減少等で文化協会会員数が減少が続いている。地域の実情に合った振興策を考えていく必要性を感じる。 ■会員の高齢化や団体数の減少と年々厳しい状況にあるが、芸術文化鑑賞事業や関連イベントの充実を図り、会員数の維持、新規協会員増加に努めていただきたい。 ■会員の高齢化が進み、次の世代が参加しづらくなっているのではないかと。若い世代が活動しやすい環境を整えることが必要ではないかと。																										
第三者委員会委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆文化協会加盟団体の解散が増えており、会員数も大幅に減少している。文化的活動を行っている団体もあると思われるので、文化協会加入によるメリットを明確にして、新たな団体の加入促進に努めてもらいたい。 ◆文化協会会員数は年々減少している。若い世代へつなぐことが、難しい状況がある。是非、尻すぼみにならず、次代の後継者を育成していきたい。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興
基本的施策	16 文化・芸術の振興
主な取組	(2) ひじ産業文化まつりの振興 ○ひじ産業文化まつり文化部門の各種企画を通して、町民に文化・芸術活動の面白さを周知。



	参加団体の増加によって、文化的賑わいのある町の実現を目指します。						
実施事業	ひじ産業文化まつりの振興						
令和6年度の取組実績	○ひじ産業文化まつりは中止。（※衆議院選挙〔10/27〕のため） ○産業文化まつり代替として、芸術文化鑑賞事業「日出町文化フェスティバル」を開催。						
成果	○上記フェスは約350人の来館者を得た。 ○町民の文化的で心豊かな生活の推進に寄与できた。						
課題・目標	○次年度以降も文化協会と連携し、各世代（特に若年層）に芸術・文化活動への興味・関心を持ってもらえるよう、取り組みを拡大していきたい。						
数値目標	ひじ産業文化まつり参加団体数（文化部門）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	-	-	84	85	86	87
	実績	-	-	24	50	2	-
担当課評価・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	子どもを対象とした芸術文化の体験・習得機会を提供していくことを目指すが、具現化にいたっていないため。						
教育委員評価・意見	評価	2.75	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	■昨年は中止となったが、心豊かな生活を推進するためにも、ひじ産業文化まつりが果たす役割は大きい。 ■ひじ産業文化まつりを通じて、特に若年層に文化・芸術活動への興味を抱かせ、文化的賑わいのある町づくりを継続していただきたい。 ■ひじ産業文化まつりの中止による代替イベントとして日出町文化フェスティバルを開催し、多くの参加があったことは、関係者の尽力の賜物である。元々の目標値が現状と合っていないと感じるが、現状参加できていない（していない）団体・個人にも目を向け、参加を呼びかけてはどうか。 ■ひじ産業文化まつり等のイベントでは、文化協会にこだわらず、任意のグループや個人で活動している人たちにも積極的に参加を呼び掛けていくことが必要ではないか。						
第三者委員会委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆子どもを対象としたものは、「日出町児童文化祭」があるが、子どもが来れば親も来るし、合同・拡大して一緒に開催してはどうか。 ◆本年度は日出町文化フェスティバルと産業文化祭から変わったため、参加団体が周知不十分で、参加団体が少なかったため、今後、理解を深めてもらい、参加団体を増やしたい。 ◆ひじ産業文化まつりでは、芸能発表や作品展示などで日頃の成果を披露しているが、興味のある人が訪れるだろうから、作品の製作実演や一日体験など加入促進につなげる取組も行ってみたいはどうか。						
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興
基本的施策	16 文化・芸術の振興



主な取組	(3) 地域伝統芸能（辻間楽・津島神楽）の継承促進 ○伝統芸能の一つである辻間楽・津島神楽について、地域に根付く文化として魅力を発信し、保存・継承の重要性を広く周知することに取り組みます。また実際の継承活動として幅広い層に対する継承者の獲得と育成を目指し、本来の舞手の年齢層となる青年～成人層による各伝統芸能への再興と充実を図ります。																										
実施事業	地域伝統芸能保存継承事業																										
令和6年度の取組実績	○「城下かれいまつり」や「八津島神社大祭」等での津島神楽の披露。 ○継承活動の担い手となる青年層への辻間楽・津島神楽の周知。																										
成果	○町民に対し、辻間楽の保存継承の意義を周知・啓発できた。 ○所管行政・継承団体（近隣市）を含め、取組事例・課題等を共有できた。																										
課題・目標	○指導者不足の現状は変わらず、安定した継承活動に向けて取り組む。 ○打子・楽師等の継承者を募り、継承者の充実を図る【目標】																										
数値目標	地域伝統芸能（辻間楽・津島神楽）の継承者数（人） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>18</td><td>19</td><td>21</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>実績</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>21</td><td>21</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	18	19	21	23	24	25	実績	18	18	18	21	21	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	18	19	21	23	24	25																					
実績	18	18	18	21	21	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	有償で後継者を育成することも検討すべき、との検証もあるが、行政からの支援はどこまで行うのが妥当か、結論が出ていないため。																										
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■伝統芸能は、古くは地域に暮らす者の責務として伝承されてきたのであろうが、地域コミュニティが衰退した現代においては、篤志家の善意と行政の取り組みに頼らざるを得ない。個々の伝統芸能を保存することの意義を、行政がどの程度に評価するかに掛かっている。 ■指導者不足、承継者不足の課題が明白のため、存続に向けて一時的でも行政の手厚い支援が必要となるのではないかと。 ■地域伝統芸能を未来へ継承していくため、教育機関と連携し、教育の中で伝統文化に触れる機会を増やし、若い世代の関心を高める必要があると思う。継承活動の担い手となる青年層へ辻間楽・津島神楽を周知することで継承者数の増加に努めていただきたい。 ■地域の伝統芸能に触れる機会があればその素晴らしさが伝わるが、保存継承となると具体的な支援策は難しい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆辻間楽は、現在、豊岡小のひと学年（4年生）で、授業でしている。その後、例年、数人が体験にきていると聞いている。豊岡だけでなく、他の小学校でもして、全町から興味のある人を募ってはどうかと思う。 ◆地域の伝統芸能を保存・継承してもらいたいと思っている人は多いが、自分が携わっていこうとは思っている人は少ないのが現状なのだろう。子どもの頃から伝統芸能を見たり体験する機会を増やし、自然に参加していくような仕組み作りが必要なのだろう。 ◆今の文化協会の現状を分析したとき、独り立ちができるのか、団体活動が停滞気味で側面的支援が必要なのか、各団体の強みと弱みを評価して、取組を進めてはどうか。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興						
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり						
主な取組	（１）郷土への愛着を育む展示の企画・開催 ○日出町の特色ある歴史・先哲をテーマに調査・研究を行い、その成果を歴史資料館（帆足萬里記念館）にて「特集展」として企画し、日出町内外のゆかりの資料の展示公開に取り組みます（開催回数：年間３回、開催期間：１回／４か月）。						
実施事業	日出町歴史資料館（帆足萬里記念館）展示運営（特集展）						
令和６年度の取組実績	○特集展として『学芸員のまなざし』展、日出藩主木下氏の近代をクローズアップした『大名家の近代－木下氏、日出藩主から子爵へー』展、豊田秀吉正室高台院おねの没後４００年を記念しての『高台院が遺したもの－豊臣と杉原の間－』展を開催。						
成果	○日出小学校を除く全小学校が創立１５０年を迎え、各校に記念リーフレットを作成・配布し、記念式典にて講話を行った（川崎小・藤原小）ことは時機に叶った企画、意義ある調査・展示及び教育普及となった。						
課題・目標	○展示企画調査や資料保存調査に多くの期間（平均１～２年）を要す。 ○特色ある歴史性を掘り起こし、町に潜在するポテンシャルを引き出す【目標】						
数値目標	歴史資料館（帆足萬里記念館）での特集展開催回数〔年間（累計）〕（回）						
	年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7
	目標（年）	2	3	3	3	3	3
	実績（年）	2	3	3	3	3	－
	目標（累計）	2	5	8	11	14	17
	実績（累計）	2	5	8	11	14	－
担当課評価・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	学芸員の知識・技能を活かした企画・展示運営を行っており、本町文化遺産の周知・啓発に効果をあげているため。						
教育委員評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■学芸員の知識・技能を活かした企画・展示運営を継続して、文化遺産の周知・啓発を継続していただきたい。						
	■日出町の歴史・先哲をテーマにした企画・研究・展示は、大変意義のある取り組みである。これは、次世代の子どもたちにとっても、郷土のことを知る良い学習となると考える。しかし、学芸員の尽力の割に、特集展の情宣が足りないのではと感じる。特集展の開催回数だけが目標ではなく、参加者の満足度も表示してほしい。						
	■地元の歴史・文化への理解を深めることは、郷土愛の醸成に大きく寄与するものである。今後とも日出町の歴史・文化を掘り起こし、その特色を際立たせながらこの取り組みを深化させて欲しい。						
	■各学校の学校日誌などからも歴史的な調査・研究が補完され、歴史資料館の取り組みが成果をあげている。						
	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

第三者委員会 委員 評価・意見	<p>◆歴史資料館で開催する「特集展」は、準備から展示まで学芸員の苦労や努力の成果が表れすばらしいものとなっている。ポスターやチラシも手作りでよくできている。来館者が増えるよう町内外への情報発信をどんどんして欲しい。</p> <p>◆歴史資料館の特集展開催は、学芸員が切磋琢磨して、企画・展示していて、回数も増え、成果が出ている。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																																								
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり																																								
主な取組	（２）郷土への愛着を育む歴史・文化財の広報活動 ○日出町の特色ある歴史・文化、文化財、また、その継承に向けた保存・活用の取り組みを、日出町民をはじめ、大分県内外に広く周知・啓発を図るため、町の広報誌やホームページへの特集記事・コラム記事の執筆・掲載に取り組みます（年間２０件）。																																								
実施事業	文化財普及啓発（広報活動）																																								
令和６年度 の取組実績	○歴史資料館特集展の開催周知（町報３回）及び展示コラムの掲載（ＨＰ１７回） ○『学芸員のひじまち学』開催（４回、来場者数延べ約２５０名） ○城下かれい祭り『文化財体験ひろば』（勾玉づくり１２０名、ふるさとカルタ大会１３名）																																								
成果	○歴史性のあるテーマで、特色ある展示・講座を開催することができた。 ○所属学芸員のキャリアを活かし、多様な企画を組み立てることができた。 ○他部署・他機関と連携・協力し、効果的な事業を実施することができた。																																								
課題・目標	○ＨＰ・ＳＮＳ上の情報発信に対する反応が希薄な印象を受ける。 ○１～２年先を見据えた調査・企画と所属学芸員の資質向上を図る【目標】																																								
数値目標	歴史・文化財に係る年間広報活動（広報特集・ＨＰコラムの計）〔年間（累計）〕（回） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>（目標値） Ｒ７</td></tr><tr><td>目標（年）</td><td>８</td><td>２０</td><td>２０</td><td>２０</td><td>２０</td><td>２０</td></tr><tr><td>実績（年）</td><td>８</td><td>２３</td><td>２０</td><td>２１</td><td>２０</td><td>－</td></tr><tr><td>目標（累計）</td><td>８</td><td>３０</td><td>５０</td><td>７０</td><td>９０</td><td>１００</td></tr><tr><td>実績（累計）</td><td>８</td><td>３１</td><td>５１</td><td>７２</td><td>９２</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７	目標（年）	８	２０	２０	２０	２０	２０	実績（年）	８	２３	２０	２１	２０	－	目標（累計）	８	３０	５０	７０	９０	１００	実績（累計）	８	３１	５１	７２	９２	－
年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７																																			
目標（年）	８	２０	２０	２０	２０	２０																																			
実績（年）	８	２３	２０	２１	２０	－																																			
目標（累計）	８	３０	５０	７０	９０	１００																																			
実績（累計）	８	３１	５１	７２	９２	－																																			
担当課評価 ・理由	担当課評価	４	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 本町文化遺産の周知・啓発に一定の効果をあげているため。																																						
教育委員 評価・意見	評価	４	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ■ＨＰ、ＳＮＳで情報発信は、特に若い世代に効果があるので、定期的に短いスパンでの情宣が大切となる。ひじまち学は、参加者も多く、有意義な取り組みであるので、ＳＮＳ等での内容の発信も検討してほしい。 ■広報活動は大切。今後も、あらゆる機会をとらえ、情報発信を続けてほしい。 ■他部署・他機関と連携・協力し、効果的な事業を実施するとともに、ＳＮＳを利用した情報発信に努めていただきたい。 ■「歴史資料館特集展」、「学芸員のひじまち学」など意欲的な取り組みが行われているが、																																						

	町報への開催予告記事は、各々スタート時期に1回しか掲載されていない。開催期間が数か月に渡るものが多いことから、開催期間中は毎月町報に掲載するなどしてさらに周知を図ることはできないものか。		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆各種展示や体験行事に加え、学芸員が直接活動の成果を披露する「学芸員のひじまち学」など、文化財等の周知に努めようとする姿がうかがえ評価できる。ホームページやSNSを活用して広報にも力を入れているので閲覧者が増えていくことを期待する。</p> <p>◆学芸員のひじまち学4回250名、城下かれい祭り文化財体験広場勾玉づくり120名等、歴史を身近に聞いたり、体験できたことは成果である。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																											
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり																											
主な取組	（３）文化財施設の充実と来館者数の増加 ○日出町が所有・管理する文化財施設「歴史資料館（帆足萬里記念館）・隅櫓（鬼門櫓）・致道館」における企画・運営の充実を図り、年間来館者数（３施設の計）の増加に取り組みます。																											
実施事業	歴史資料館（帆足萬里記念館）・隅櫓（鬼門櫓）・致道館運営																											
令和６年度の取組実績	○資料館では、年間を通じ町の歴史性を捉えた特集展を３回企画開催。 ○鬼門櫓・致道館では、文化財である建物を公開活用（屋内でパネル平常展示） ○資料館で帆足萬里忌辰祭連携展示、致道館で致道館塾開催及び雛めぐり連携開催																											
成果	○文化財施設の運営を通じ、町の観光振興（主に城下町観光）に寄与。 ○所属学芸員の企画努力により、昨年よりも来館者数が増加。 ○来館者対応（案内・調査相談等）を通じ、町の特色や魅力を周知・啓発。																											
課題・目標	○鬼門櫓・致道館の活用拡充に向けた企画運営が課題。 ○資料館・鬼門櫓・致道館それぞれの持ち味を活かした事業の企画運営【目標】																											
数値目標	文化財施設年間来館者数【歴史資料館（帆足萬里記念館）・鬼門櫓・致道館の計】（人） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>9, 205</td><td>10, 000</td><td>11, 000</td><td>12, 000</td><td>13, 000</td><td>14, 000</td></tr><tr><td>実績</td><td>9, 205</td><td>9, 517</td><td>11, 179</td><td>11, 154</td><td>13, 571</td><td>－</td></tr></table>							年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	9, 205	10, 000	11, 000	12, 000	13, 000	14, 000	実績	9, 205	9, 517	11, 179	11, 154	13, 571	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																						
目標	9, 205	10, 000	11, 000	12, 000	13, 000	14, 000																						
実績	9, 205	9, 517	11, 179	11, 154	13, 571	－																						
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	本町の歴史的特性を活かした企画・運営などに取り組み、文化財施設への来館者数の数値目標は達成しているため。																											
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	■文化財に関連した色々な取り組みが施設の来館者数の増加につながっていると感じる。 ■文化財施設来館者数が年々伸びており、今後も本町の歴史的特性を活かした企画を充実し、更に来館者数増加に努めていただきたい。 ■文化財施設来館者は増加しており、関係機関・学芸員の努力を感じる。来館者の属性（住所、																											

	男女構成比、目的、来館のきっかけ、意見等々）をアンケート（インターネット、紙）で集約し、今後の企画や来館者増の取り組み方針とすることも検討してほしい。 ■来館者数が増加し、目標人数を超えていることは好ましいが、町民へのアピールが十分ではない。貴重な文化財施設の存在や魅力、歴史資料館の取り組み等の周知を図るために、町報に毎号「図書館だより」のようなコーナーを設けることはできないか。		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	◆来館者数を維持しているのは素晴らしいが、あまり、見聞きすることがないように思う。小・中・高校生の見学を促すとか、町報に連載するとかしてはどうか。 ◆着実に所属学芸員の企画努力により文化財施設への年間来館者数が増えていることは評価に値する。 ◆町外からの来館者やリピーターの増加が不可欠であり、広域での取り組みを行ったり観光担当課等と連携・連動した取り組みを行ったりしていてもらいたい。		
	総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	（１）広報誌・ホームページ双方で周知啓発の促進 ○町民が進んでスポーツに取り組み、生涯を通じて健康の保持増進及び 体力づくりを実現するための意識の高揚を図るため、広報誌・ホームページにより町民への周知啓発を図ります。																										
実施事業	生涯スポーツ周知啓発																										
令和６年度の取組実績	○町内のスポーツ少年団の指導者並びにスタッフを対象とした研修会を中央公民館で開催。 ○新春健康マラソン大会を、ランニングポータルサイト（RUNNET）に掲載。																										
成果	○生涯スポーツフェスタに９競技団体、５２５人が参加 ○体力・運動能力判定会に３８人が当日参加 ○新春健康マラソン大会に４９９人当日参加																										
課題・目標	○生涯スポーツフェスタへの一般募集（体力判定会等）参加者及び各競技の取り組み（体験機会等）を増やすこと。 ○新春健康マラソン大会の参加人数を増やすこと。																										
数値目標	スポーツに係る周知啓発回数（年間）（回） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>実績</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	0	0	1	2	3	4	実績	0	0	2	2	3	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	0	0	1	2	3	4																					
実績	0	0	2	2	3	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	新春健康マラソン大会において、RUNNETを活用することで、受付業務の簡素化や町内外への大会周知ができており、参加者は増加傾向である。																										
	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■広報誌やＨＰで情報提供することが、スポーツフェスタや健康マラソン大会への参加者の増加へつながっている。																										



教育委員 評価・意見	<p>■日出町新春健康マラソン大会が効率的に運営されていることは好ましい。広報については、スポーツイベントの周知を図るだけでなく、生涯を通じた健康保持や体力づくりを呼びかけるものであることが望ましい。</p> <p>■新春健康マラソン大会でのネット利用等、周知啓発・参加募集等の取り組みは、広報紙等の紙媒体以外にHP、SNS等の情報発信が効果的であるので、今後もこまめに活用してほしい。</p> <p>■生涯にわたってスポーツに親しみ、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう、今後も引き続き生涯スポーツフェスタへの参加者の増進に努め、健康の保持増進及び体力づくりへの意識の高揚を目指していただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆ランニングポータルサイトで町内外にネットで周知できて、参加者が増えていることは、インターネットの広報効果は有効であることが分かった。</p> <p>◆新春健康マラソン大会については、RUNNETの活用により広く周知でき、参加受付業務の簡素化が図れたため、職員の負担を軽減することができ良かったと思う。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	(２) 総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」の広報活動 ○子供から高齢者まで多くの町民にスポーツを楽しんでもらうため、日出町総合型地域スポーツクラブ「ひまわりのたね」の運営・活動を支援して回覧等により町民への周知を図ります。																										
実施事業	回覧等による町民への周知（広報活動）																										
令和６年度 の取組実績	○会員募集のパンフレット配布 ○新春健康マラソン大会における業務支援（おしるこ提供）																										
成果	○イベントの広報によるクラブ認知度の向上 ○会員数・対象競技の精査（※会員数減の要因となった）																										
課題・目標	○総合型地域スポーツクラブにしかできない関係団体等と連携した取組の実施 ○中学校部活動地域移行への対応																										
数値目標	総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>181</td><td>200</td><td>220</td><td>240</td><td>260</td><td>280</td></tr><tr><td>実績</td><td>181</td><td>247</td><td>315</td><td>355</td><td>270</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	181	200	220	240	260	280	実績	181	247	315	355	270	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	181	200	220	240	260	280																					
実績	181	247	315	355	270	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	昨年より組織改革に着手しており、当該団体の信頼回復に向けて継続的に取り組みを行っている途上であり、未着手の課題等も多いため。																										
	評価	3.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■「ひまわりのたね」の会員数の実績が昨年度より減少したため、適正な運営のもと総合型地域スポーツクラブにしかできない取組を実施し、子どもから高齢者まで多くの町民にスポー																										



教育委員 評価・意見	<p>ツを楽しんでもらう機会を維持していただきたい。</p> <p>■会員数確保、中学部活動移行等、課題は多いが、全世代に気軽にスポーツに親しむことのできる「ひまわりのたね」の存在は重要。会員数増加のために、活動中の様子をSNS等で情報発信してほしい。</p> <p>■「ひまわりのたね」の信頼回復に向けた取り組みがなされている。会員数は減少したが目標人数は確保できている。</p> <p>■運営が改善され、会員数も増えてきている。部活動の地域移行に関して、更に取り組みを進めてほしい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆総合型地域スポーツクラブについての認知度がまだ低いと思われる。年1回年度初めにパンフレットが配布されるが、年度途中にも参加者の追加募集や活動状況、参加者の声等の情報発信をしていってはどうか。</p> <p>◆クラブの認知度も年々上がっていて素晴らしい。</p> <p>◆会員数、対象競技の精査で活動実績や人数、内容等で登録を見直して減らしていった課題を解決している途上であることが分かった。</p>		
	総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	（３）指導者研修会の実施 ○スポーツ少年団の指導者研修を実施することにより、スポーツを通じた健全育成に努め、スポーツ少年団への加入率（小学生）の増加に取り組みます。																										
実施事業	指導者研修会																										
令和６年度 の取組実績	○地域内・指導者スタッフ研修会の実施 ○スポーツ少年団交流駅伝大会の実施																										
成果	○研修等でハラスメント撲滅を目指し、子どもたちに有益なスポーツ環境の整備 ○駅伝大会にて、子ども達はお互いに励まし合い、チームワークを構築する有意義な機会となった。																										
課題・目標	○スポーツ少年団への加入率が、年々減少傾向にあるため加入促進の継続的な啓発活動が肝要【目標】																										
数値目標	スポーツ少年団への加入率（小学生の加入割合）（％） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>19.2</td><td>20.0</td><td>21.0</td><td>22.0</td><td>23.0</td><td>24.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>19.2</td><td>20.2</td><td>18.5</td><td>17.0</td><td>18.4</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	19.2	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	実績	19.2	20.2	18.5	17.0	18.4	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	19.2	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0																					
実績	19.2	20.2	18.5	17.0	18.4	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	スポーツ少年団への加入率低下が課題。少子化の影響や経済的な問題など少年スポーツを取り巻く課題も分析する必要性がある。																										
	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

教育委員 評価・意見	<p>■少子化に加え、習い事の多様化やクラブチームの増加により、スポーツ少年団への加入率は年々減少傾向にあるため、スポーツ少年団の活動をSNSやホームページを通じて広報活動の充実も図っていただきたい。</p> <p>■スポーツ少年団の団員減少は全国的な傾向であり、少子化や習い事の多様化など様々な理由が挙げられている。子どもたちにとって、より魅力あるスポーツ少年団となるよう、指導者の資質向上や円滑な団運営への支援を継続して欲しい。</p> <p>■スポーツ少年団の加入率はここ数年横這いであるが、習い事の実験肢の多さ、親の負担等を鑑みれば評価できる。スポーツ少年団で活動することの多くのメリットを親や子どもにどのように情宣していくかが重要になる。</p> <p>■スポーツ少年団活動の意義は認められていると思う。一定程度の加入率は維持されており、受け皿となる指導者の育成にも取り組みを続けてほしい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆今の子どもたちは、習い事をたくさんしているイメージだが、スポーツ少年団の加入率が減っていることに驚いた。一度、保護者や子どもにアンケートを実践して、原因を探ってはどうか。</p> <p>◆物価高騰の折、スポーツ少年団の加入率は低迷している、習い事の多様化、保護者の負担増や対流試合、ユニフォームやスポーツ用具の負担等も陰を落としているのではないかと。</p> <p>◆今は町内スポーツ少年団だけでなく、広域のスポーツクラブ、他市町にしかない種目のスポーツクラブに参加する者がいるし、スポーツ以外の習い事に通う者もいるので、スポーツ少年団への加入率はあまり気にしなくてもいいと思う。スポーツ少年団の指導者に対しては、研修等を通して子どもの心身の成長につながる指導をお願いしたい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興					
基本的施策	19 競技スポーツの振興					
主な取組	<p>(1) 大分県民スポーツ大会の目標設定と成績の向上</p> <p>○全国大会に出場する選手を育成し、スポーツ人口の拡大と選手の発掘が進むことにより、大分県民スポーツ大会などの成績の向上に努めます。</p>					
実施事業	指導者の育成と技術力の向上					
令和6年度の取組実績	<p>○日出町選手権大会の開催、大分県民スポーツ大会の出場。</p> <p>○国東半島駅伝競走大会、大分県都市対抗駅伝大会に出場。</p>					
成果	<p>○県民スポーツ大会で16チーム中12位、躍進順位10位の成績となった。</p> <p>○県民スポーツ大会で入賞(1～3位)した団体数が横ばいで推移。</p>					
課題・目標	<p>○選手発掘や競技人口の拡大が進まず、大会に出場できない競技団体がある。</p> <p>○既存の選手強化費や新設した競技部振興補助金の効果的な活用を推進する。</p>					
数値目標	大分県民スポーツ大会で入賞(1～3位)した競技種目数(年間)					
	年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	(目標値) R7
	目標	18	19	20	21	22
	実績	18	中止	25	25	24

担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	県民スポーツ大会の総合成績は前回と同様であったが、新たな選手発掘や競技人口の拡大など、一定の成果が上がっているため。		
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■新たな選手発掘や競技人口の拡大を図るには、特定の有望種目や低迷種目に対して、一定期間集中的に支援を厚くすることも必要ではないか。</p> <p>■新たな選手発掘や競技人口の拡大に努め、県民スポーツ大会での総合成績向上に努めていただきたい。</p> <p>■競技者が少なく大会に参加できない競技団体に関しては、期間を設定して重点的に補助金を活用することも大切ではないか。</p> <p>■各競技団体との情報交換などから、競技人口の確保へどのような支援策が必要か検討を続けてほしい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆地元のスポーツ選手やチームの活躍はうれしいものである。頑張った選手等は讃えてあげてもらいたい。スポーツ団体とは意見交換の場を設けて要望や課題を聞き、町で解決できることについては予算化や対応をお願いしたい。</p> <p>◆各競技の優秀選手の育成と技術力の向上めざしている。県民スポーツ大会で入賞した競技種目ほぼ同等ということである。新たな競技にも入賞できるよう応援したい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興						
基本的施策	19 競技スポーツの振興						
主な取組	(2) スポーツ指導者研修会の参加者数の増加 ○スポーツ指導者研修会の充実を図ることにより、次世代を担う指導者の育成が進むことから、スポーツ指導者研修会の参加者数の増加に取り組めます。						
実施事業	スポーツ指導者研修会						
令和6年度の取組実績	○日出町地域内指導者・スタッフ研修会の開催						
成果	○指導者の育成による、各競技の強化及びより良いスポーツ環境の整備						
課題・目標	○町スポーツ協会の競技力を支える人材育成を目的とした、指導者研修会への参加の継続的な促進。						
数値目標	スポーツ指導者研修会（参加人数）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	36	40	45	50	60	70
	実績	36	61	42	28	29	－
担当課評価 ・理由	担当課評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	スポーツ少年団指導者の研修参加にとどまった。スポーツ協会加盟団体の指導者も、研修会参加を通して、意識の向上を図る必要がある。						

教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>■競技スポーツのレベル向上を図るには、優れた指導者の存在が欠かせない。また、中学校部活動の地域移行に当たって、指導者不足が懸念されている。指導者の新規確保や資質向上にこれまで以上に注力して頂きたい。</p> <p>■指導者研修会への参加を促進し、町スポーツ協会の競技力を支える人材育成を推進していただきたい。</p> <p>■スポーツ振興には、各活動組織の充実が欠かせない。中でも指導者の育成は大きな課題であり、今後も魅力的な研修の推進に努めてほしい。</p> <p>■2年続けて大幅に目標値を下回ったことや、スポーツ少年団指導者研修会へのみの参加になったことは残念。競技スポーツ振興を図るためには、良い指導者が必須であると考えられるため、今以上に指導者の資質向上の取り組みが望まれる。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆町内競技スポーツ団体においては、スポーツ少年団と違い特別指導者がいるわけではないかもしれないが、研修会を開催してハラスメントの抑止、競技力向上、円滑な団体運営等を学ぶ機会を設けてほしい。</p> <p>◆スポーツ指導者研修会＝スポーツ少年団指導者ということで、今後、スポーツ協会加盟団体の指導者も参加を願いたい。</p> <p>◆参加人数が28、29であるのに、目標値は、50、60、70とあるのは何を見越しての数値なのでしょう。呼びかける人数を増やすのか、数値の見直しが必要なのではないのでしょうか。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅴ 人権を尊重する社会づくり						
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進						
主な取組	（１）町民の人権意識、学習ニーズに応じた様々な学習機会を提供 ○各種団体との連携のもと、職場や学校、地域や家庭など、あらゆる場において人権について正しい知識や理解が深まるよう、体系的に学習する機会を提供します。						
実施事業	人権講座、人権講演会、人権フェスティバル（共催）、小学校区別人権学習会、地区人権学習会						
令和６年度の取組実績	○人権講座、人権講演会、人権フェスティバル（共催） ○小学校区別人権学習会、地区人権学習会						
成果	○日出町人権講座を５回実施（人権フェスティバル、差別をなくす人権講演会含む。） ○児童・生徒の人権意識の高揚を図るため、人権作文・標語・ポスターを募集した。						
課題・目標	○同和問題の他、ＬＧＢＴＱや子どもの人権など、幅広い人権について、町民への問題提起を行うことができた。						
数値目標	教育委員会が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数（年間）（回）						
	年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７
	目標	７	７	１０	１２	１４	１６
	実績	７	７	２７	１１	７	－
	教育委員会が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数（年間）（人）						

	<table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>289</td><td>231</td><td>450</td><td>490</td><td>530</td><td>570</td></tr><tr><td>実績</td><td>289</td><td>231</td><td>496</td><td>716</td><td>604</td><td>－</td></tr></table>	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	289	231	450	490	530	570	実績	289	231	496	716	604	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																
目標	289	231	450	490	530	570																
実績	289	231	496	716	604	－																
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																			
	研修等を通して人権について幅広く考える機会を提供し、参加者数も目標値には到達しており、今後も継続した取り組みが望まれる。																					
教育委員 評価・意見	評価	3.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																			
	■時代の流れと共に人権侵害の内容も変化している。研修や講演会は、新たな視点や現状の問題点等を学習する良い機会となっている。 ■LGBTQなどの様々な人権問題について、町民の意識を高める取組をお願いしたい。 ■人権について考える機会を多く提供できることにより、人権意識が高められるため、今後も継続した取り組みが望まれる。 ■人権の研修、講演会の参加者数は目標人数を上回っているが、開催数は前年より減少し、目標回数に届いていない。SNSによる誹謗中傷など人権侵害の事例が日々報じられている中、人権を尊重する意識を育む取り組みは、回を重ねることも大切である。																					
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																			
	◆教育委員会が開催する人権の研修、講習会については、回数・参加者数ともに前年度を下回っている。日程的に開催が難しいのであれば、学校や地区、各職場等での開催を促し、町民全体の意識向上につなげていてもらいたい。 ◆人権フェスティバルで人権作文、人権標語、人権ポスター等多くの作品を鑑賞できた。子どもたちは、LGBTやいじめ、SNSの誹謗中傷等人権問題をよく学習し、人権意識が高まっている。是非、人権教育を大人も含めて、しっかり学習して差別のない町にしたい。 ◆開催数よりも内容の質の方が大事と思うので、数にこだわらず、よりみなさんが聞いてみたくなる会を開催すればよいと思う。																					
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																			

【担当】社会教育課

基本目標	V 人権を尊重する社会づくり
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進
主な取組	<p>(2) 日常の様々な場面での効果的な人権教育と啓発</p> <p>○住民が人権課題に対して人権の大切さに触れることができるよう、「気づき」につながる情報発信に努めます。</p>
実施事業	広報誌 人権コラム、人権だよりの発行、ホームページ・SNSでの発信、展示・掲示等
令和6年度の取組実績	<p>○人権だよりの「じんけん」の発行(5回)</p> <p>○広報ひじ人権コラム「こころのまど」の掲載(4回)</p> <p>○人権フェスティバルにおける、小中高生の人権作品の展示及び表彰</p>
成果	<p>○社会情勢に応じた人権記事を広報誌等に掲載し、多くの人権問題に触れる機会を継続的に多様な媒体で提供</p> <p>○児童・生徒の人権作文を掲載し、幅広い年代に対し人権を考える機会を創出</p>



課題・目標	○多くの人権作品の応募があるよう、募集を工夫する。 ○人権だより「じんけん」等をホームページに掲載し、広報を充実させる。																										
数値目標	広報紙・町ホームページでの啓発の回数（年間）（回） <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>6</td><td>14</td><td>17</td><td>19</td><td>22</td><td>24</td></tr><tr><td>実績</td><td>6</td><td>14</td><td>28</td><td>20</td><td>16</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	6	14	17	19	22	24	実績	6	14	28	20	16	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																					
目標	6	14	17	19	22	24																					
実績	6	14	28	20	16	－																					
担当課評価 ・理由	担当課評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 地区の回覧（紙媒体）、SNSなどを活用して、周知・啓発に努めている。																								
教育委員 評価・意見	評価	3.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ■広報紙や町ホームページにおける啓発回数が前年よりも減少し、目標回数に届いていない。人権問題に対する意識の維持・向上を図るには、様々な媒体を活用して啓発に努め、考える機会を継続的に提供することが望ましい。 ■幅広い年代への啓発を行うには、紙媒体以外にHP、SNS等を最大限活用した、こまめな情報発信が必要だと感じる。 ■町民が人権課題に対して人権意識の大切さを理解できるよう、ホームページやSNSなどを利用した広報活動を充実させていただきたい。 ■広報誌やコラム、SNS等で人権に関わる内容について発信し続けることが、幅広い年代層が人権意識を高めていくための気づきにつながっていくと感じる。																								
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ◆「じんけん」の発行やひじ人権コラム「こころのまど」学ぶことが多い。またフェスティバルで発表された人権作文や人権ポスター、人権標語も機会を通じて、公共の場や会社等で掲示できると効果があるのではないかと感じる。（公民館や地区支所には掲示しているが） ◆人権の大切さはわかっているが、無意識のうちに侵害してしまうことがある。方法は様々だろうが人権について学ぶ機会を多く設け、考え、気づきにつながるよう努めてもらいたい。 ◆町報の「こころのまど」や「じんけん」は、必ず読みます。定期的な全戸に向けた発信はとても大切だと思うので、学校へとあわせて、今後も続けてほしい。																								
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								

【担当】社会教育課



## 参 考

### 日出町教育委員会点検・評価第三者委員会設置要綱

平成21年教育委員会告示第1号

(趣旨)

**第1条** この要綱は、日出町教育委員会点検・評価第三者委員会の設置、組織、運営について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

**第2条** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、同条第1項の点検・評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、日出町教育委員会点検・評価第三者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(職務)

**第3条** 委員会の職務は、次のとおりとする。

- (1) 委員は、日出町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の求めに応じ、前条の点検・評価を行うにあたり、意見を述べるものとする。
- (2) 委員は、教育委員会の実施する点検・評価に対し、外部の視点から検証を行うものとする。
- (3) 委員は、教育委員会の点検・評価制度の改善等に関し意見を述べるものとする。

(組織)

**第4条** 委員会は、3人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げるものとし、教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育に関する学識経験者
- (2) その他教育委員会が必要と認める者

(委任)

**第5条** 委員の任期は、教育委員会が委嘱した日から同日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

**第6条** 委員会に、委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

**第7条** 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

**第8条** 委員会の庶務は、教育委員会教育総務課において行う。

(委任)

**第9条** この要綱に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月25日教委告示第8号）

この告示は、平成27年4月1日から施行する。